

青森県中学校体育連盟 70周年記念 第70回青森県中学校体育大会夏季大会要項

- 1 名 称 第70回青森県中学校体育大会夏季大会
- 2 趣 旨 (1) スポーツマンシップの涵養
(2) スポーツ技術の向上
(3) スポーツによる善導及び生徒相互の親睦と社会性の伸長
- 3 主 催 青森県中学校体育連盟・青森県教育委員会
- 4 共 催 公益財団法人青森県スポーツ協会
- 5 主 管 弘前地区中学校体育連盟・南地方中学校体育連盟・北五中学校体育連盟
西つがる中学校体育連盟
- 6 期 日 令和元年7月13日(土)～15日(月) 予備日16日(火)
13日(土) 15:00～ 総合開会式：弘前市運動公園陸上競技場
(荒天時：弘前克雪トレーニングセンター)
14日(日) 8:30～ 競技1日目(競技終了18:00)
15日(月) 8:30～ 競技2日目(競技終了17:00)
16日(火) 予備日

7 競技種目並びに競技会場

種 目	会 場	種 目	会 場
1 陸 上	青森県総合運動公園陸上競技場 (青 森)	9 卓 球	岩木山総合公園体育館 (弘 前)
2 軟 式 野 球	弘前市運動公園野球場 岩木山総合公園野球場 黒石運動公園野球場 平川市尾上野球場 (弘 前・南地方)	10 柔 道	八 戸 市 体 育 館 (八 戸)
3 ソフトボール	平賀多目的広場 平賀総合運動施設ひらかドーム (南地方)	11 剣 道	青 森 県 武 道 館 (弘 前)
4 サ ッ カ ー	岩木山総合公園多目的グラウンド 弘前市運動公園陸上競技場 弘前市運動公園球技場 (弘 前)	12 相 撲	青 森 県 武 道 館 (弘 前)
5 バスケットボール	新青森県総合運動公園 マエダアリーナ (青 森)	13 体 操 新体操(男子)	弘前市民体育館 (弘 前) 青森山田高等学校体育館 (青 森)
6 バレーボール	つがる市柏総合体育センター つがる市稲垣体育館 (西つがる)	14 新体操(女子)	青森山田中学校体育館 (青 森)
7 バドミントン	スポカルイン黒石 (南地方)	15 水 泳	青森県総合運動公園プール (青 森)
8 ソフトテニス	新青森県総合運動公園 テニスコート (青 森)		

- 8 参加資格
- (1) 県内中学生であって、各地区から選抜されたもの。
 - (2) 参加者は、1人1種目とする。
 - (3) 団体種目については、各地区より種目ごとに1チームの参加とし、競技の状況により各地区から2チームまで参加できる。
なお、相撲、体操・新体操については、学校単位1チーム参加できる。
バドミントン競技は別に定める。
 - (4) 合同チームについては、『青森県中学校体育大会における複数校合同チーム参加規定』を満たしている場合に参加できる。種目は以下の5種目とする。
〔バスケットボール、サッカー、バレーボール、軟式野球、ソフトボール〕

9 監督及び
コーチ

監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。

「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者を言う。

ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること。
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 他校と兼務していないこと。
- ④ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

外部コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。

部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「校長・顧問または当該部活動を担当する教職員」がチームに帯同すること。

本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・外部指導者(コーチ)・トレーナー等は、運動部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。

なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

10 参加料 選手1人 1,000円

- 11 申し込み
- (1) 申し込み用紙は県中体連ホームページからダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、校長印を押して地区中体連に3部提出する。
 - (2) 参加申込書は、各地区中体連でとりまとめ6月24日(月)までに2部大会実行委員会事務局へ提出する。
 - (3) 個人種目のある競技(陸上、バドミントン、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、相撲、体操)は、各地区の競技委員長が参加選手一覧を1枚の用紙にまとめて、各地区中体連に提出するとともに、県専門部委員長、大会実行委員会事務局へ抽選前までに送付し、抽選時に遺漏のないようにすること。
 - (4) 申込書に記載する選手氏名・学校名・学年等の情報は大会プログラムへ掲載し、公表するとともに、大会結果集約に利用する。成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載する。事情がある場合は、各地区中体連を通して青森県中学校体育連盟及び大会実行委員会に連絡をする。

12 運営委員会

- (1) 大会運営委員会は、次の①～④のメンバーで構成される。
- ① 議決、承認権のあるもの。
 - ・ 県中体連会長・同副会長・同理事長・同理事
 - ② 競技要項についての提案、報告の義務があるもの。
 - ・ 県中体連各競技部会長 ・ 県中体連各競技専門部委員長
 - ・ 開催地中体連各競技部長 ・ 開催地中体連各競技委員長
 - ③ ②を除く提案、報告義務のあるもの。
 - ・ 大会開催地事務局構成員
 - ④ 諮問権のあるもの。
 - ・ 県教育委員会代表
- (2) 大会運営委員会は、6月24日（月）に県中体連会長によって招集され、次の①～⑤の仕事を行う。
- ① 開会式の要項について最終決定をする。
 - ・ 次第、行進隊形と順序 ・ 服装 ・ 集合時間と場所
 - ・ 荒天の際の要項・その他
 - ② 大会役員の決定をする。
 - ③ 競技要項の最終決定をする。
 - ・ 抽選による競技組み合わせ（個人戦は事前抽選、説明、確認をする。）
（県中体連各競技専門部委員長は抽選要項を作成・持参し、共通理解のう
え厳正に、かつ速やかに抽選を行う。）
 - ・ 競技の場所と時刻
 - ・ 会場見取り図、駐車場案内配布と説明
 - ・ その他
 - ④ 選手の輸送方法、宿舎、大会の情報宣伝について協議する。
 - ⑤ 予算について決定する。

13 表彰

- (1) 団体競技種目については、3位までの入賞チームに賞状を授与する。また、そのチーム構成選手には、別に、個人用賞状を授与する。
- (2) 団体種目優勝チームには、優勝旗を授与する。
- (3) 個人種目については、8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (4) 本大会では、上記の(1)～(3)以外に、金銭や賞品などを用いての表彰はしない。

14 健康管理

大会参加選手の健康管理については、関係者一同、特に注意しなければならない。もし、事故の生じた際は、大会実行委員会事務局を通して県中体連会長に細大もらさず報告し、その指示を受けるものとする。

15 その他

観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪雷等、天候の影響で起こった場合も含む。

県大会実行委員会事務局

弘前地区中学校体育連盟事務局

〒036-8021 弘前市大字和徳町363-13(弘前市立第一中学校内)

専用TEL・FAX 0172-38-7749

1 陸 上 競 技

- 1 主 催 青森県中学校体育連盟 青森県教育委員会 一般財団法人青森陸上競技協会
- 2 日 時 7月13日(土) 9:00~12:00 公式練習
7月14日(日) 9:30~ 競技開始
7月15日(月) 9:30~ 競技開始 競技終了後 閉会式
- 3 場 所 青森県総合運動公園陸上競技場
- 4 種 目 ◎男子の部 (17種目)
1 年 100m、1500m
2 年 100m
1・2年 低学年4×100mR (1年2名、2年2名)
2・3年 1500m
3 年 100m
共 通 200m、400m、800m、3000m、110mH、4×100mR、走高跳
棒高跳、走幅跳、砲丸投 (5.0kg)
四種競技 (①110mH ②砲丸投4.0kg ③走高跳 ④400m)
◎女子の部 (14種目)
1 年 100m、1500m
2 年 100m
1・2年 低学年4×100mR (1年2名、2年2名)
2・3年 1500m
3 年 100m
共 通 200m、800m、100mH、4×100mR、走高跳、走幅跳
砲丸投 (2.721kg)
四種競技 (①100mH ②走高跳 ③砲丸投 ④200m)
《備考》ハードルは次の規格で行う。
男子110mH 台数10台 高さ0.914m
インターバル 13.72m-9.14m-14.02m
女子100mH 台数10台 高さ0.762m
インターバル 13.00m-8.00m-15.00m
- 5 参加資格 (1)青森県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、校長が参加を認めた者。
(2)各地区の予選会において3位までに入賞した選手、及びリレーチーム。
- 6 参加制限 (1)1校、1種目で3名以内とする。
(2)1人1種目とする。ただし、リレーを除く。リレーを2つ兼ねることはできない。
(3)学年別種目は、当該学年に限る。その他は、1・2・3年オープンとする。低学年4×100mRの選手登録は、最高6名以内とし、各学年2名以上4名以内とする。メンバーは1年2名・2年2名とし、オーダーはフリーとする。
- 7 競技方法 (1)学校対抗とする。
(2)種目得点は、1位8点、2位7点……8位1点とし、男女別に得点を合計して順位を決定する。同得点の場合は、1位を決定するときのみ各種目1位(次は2位、3位)入賞者の多寡で、2位以下の場合同順位とする。
- 8 申込方法 (1)各地区競技委員長が、以下のように手続きを行う。
①各地区予選会の決勝記録一覧表(8位まで)、参加選手一覧表、参加校・参加人員一覧表を地区大会終了後、直ちに県中陸上競技専門部事務局 代表 舘山 以智朗(五所川原第一中学校)へメールで申し込む(FAXによる申込は受け付けない)。
メールアドレス: ao.chu.tf@gmail.com
②青森県陸上競技協会事務局(むつ市協同印刷株式会社)に、参加選手一覧表をメールで申し込む。(FAXによる申し込みは受け付けない)。
メールアドレス: rikujou@kyodo-insatsu.co.jp
③地区中体連、県中体連専門委員長、実行委員会事務局への提出は第70回青森県中学校体育大会夏季大会要項P2.11申し込みの手順にしたがって申し込む。
(2)各学校は、第70回青森県中学校体育大会夏季大会要項P2.11申し込みの手順にしたがって申し込む。
- 9 番組編成 番組編成は、主催者において公正に抽選して行う。準決勝以降の番組編成結果は、掲示板に掲示する。
- 10 競技注意事項 (1)本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則によって行う。

- (2)スタートの合図は英語で行う。不正スタートした競技者は、1回目から失格となる。
混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格となる。
- (3)本競技場は、トラック・フィールドとも、全天候スパイクピンの長さは9mm以内とする。
ただし、走高跳は12mm以内とする。
- (4)出場選手は、必ず選手招集所に集まり、競技者係より点検を受ける。
- (5)各種目別の選手招集時間は、
トラック競技は15分前完了 フィールド競技は45分前完了。
- (6)走高跳・棒高跳のバーの上昇は次のとおりとする。ただし、天候等の理由で変更することもあり得る。

	種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	JO標準
男	走高跳	150	155	160	165	170	175	180	全国標準 185	188	JO標準 191	
	四種走高跳	A115 B150	Aスタート 120	155cmまで5cmずつ上げる			Bスタート 155	158	161	164	167	
子	棒高跳	240	250	270	290	300	310	320	330	340	350	
女	走高跳	125	130	135	140	145	150	155	全国標準 160	163	166	163
	四種走高跳	A105 B120	Aスタート 110	115	120	Bスタート 125	128	131	134	137	140	

以後、走高跳は3cm、棒高跳は10cmずつ上げる。

※四種競技においては、選手の意志により、上記A・Bの高さからの試技開始を選択できるものとする。(当日、四種競技競技者係が確認します。)

- (7)四種競技においては、上記の記録に達しない者、及び得点表にない記録は0点とする。
- (8)リレーのオーダー用紙(複写)は、予選・決勝とも招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
- (9)リレー競技においては、その学校の同一ユニフォームを着用すること。
- (10)リレーは学校単独チームとする。リレー2種目を兼ねることはできず、チーム間にまたがるメンバーの変更もできない。低学年4×100mRの登録は6名以内とし、各学年4名までとする。メンバーは、2年生2名、1年生2名とし、オーダーは自由とする。
- (11)リレー競技のマーカー使用は1カ所のみとする。マーカー(50mm×40mm以内)は各チームで用意し、使用後はそのチームで処理すること。

11 表彰について

- (1)各種目の1位から8位までの入賞した競技者に賞状を授与する。
各種目の表彰は、競技終了後、直ちに行う。なお、男女の共通四種競技と800mは、全競技終了後に行い、リレーの表彰は閉会式で行う。
- (2)学校対抗(総合)の表彰は、閉会式で行う。8位までに入賞したチームが参加して行う。

12 東北・全国大会出場権

- (1)4位までに入賞した選手及びチームは、東北大会の出場権を得る。競技終了後、結果が判明したら、ただちに本部の受付へ移動し手続きをすること。
- (2)大会で標準記録を突破したものは、全国大会およびジュニアオリンピック大会の出場資格を得る。結果が判明したら、ただちに本部で手続きを行うこと。
- (3)荒天・災害のため、会期中に競技を終了できなかった場合は、地区大会のランキング上位4名に東北大会出場権を与える。

13 その他

- (1)諸手続き
- ① 14日(日)8:00より、陸上競技場スタンド下の選手招集所で監督会議を行う。
前日に監督会議資料を配布するのでよく内容を確認することとし、監督会議では質問の受け答えのみ行う。
同時に東北大会、全国大会の連絡もするので監督は参加すること。ただし、やむを得

ず参加できない場合は、当該地区委員長に連絡をし、伝達してもらうこと。

②東北大会・全国大会の出場権を得た選手・チームは、事務手続きを各競技終了後に速やかに行なうこと。

※手続きについて：東北・全国大会専用用紙への記入

- ・東北大会参加料の納入（ナンバーカード代・プログラム代・登録料：監督・登録選手全員分）：記録集、記念章に関しては、各校の判断で申し込んでください。
- ・全国大会参加料の納入

※15日(月)の閉会式終了後までに必ず行うこと。

(2)会場使用注意

- ①観客席（スタンド全面）にはテント等を設営しないこと。
- ②場所取りのために、テント・ブルーシートを張ったまま帰らないこと（芝生保護のため）。もし、違反していた場合には、競技本部で撤去します。ただし、テントの骨組みやテープは残していても可とする。また、大会終了後、場所取りのためのロープは完全撤去すること。
- ③通路等へのテントの設営は、一般の方々の通行の妨げになるため、禁止とする。また、フェンスに紐を結びつけての設営も禁止とする。
- ④本競技場内に横断幕・部旗・のぼりを設置する場合は、各スタンド最上段の手すりとする。メインスタンドのサイドの手すりには設置しない。また、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- ⑤会場入場時間は7/14(日)、15(月)は6：30とする。また本競技場の練習時間は、7/14(日)は8：15、7/15(月)は9：00までとする。
- ⑥サブトラックでの練習は以下の通りとする。
 - ・7/14(日) 6：30～18：00
 - ・7/15(月) 6：30～15：00

県中体連夏季大会競技日程

競技 1 日目 7 月 14 日(日)

【トラック競技の部】

順	種別	種 目	予決	組-着+ α	時 刻	順	種別	種 目	予決	組-着+ α	時 刻
1	共女	四種100mH	決	4	9 : 15	17	1 男	100m	準	2-4	13 : 40
2	共女	100mH	予	4-3+4	9 : 35	18	2 女	100m	準	2-4	13 : 50
3	共男	四種110mH	決	4	9 : 55	19	2 男	100m	準	2-4	14 : 00
4	共男	110mH	予	4-3+4	10 : 15	20	3 女	100m	準	2-4	14 : 10
5	1 女	100m	予	4-3+4	10 : 35	21	3 男	100m	準	2-4	14 : 20
6	1 男	100m	予	4-3+4	10 : 50	22	共女	200m	準	2-4	14 : 30
7	2 女	100m	予	4-3+4	11 : 05	23	共男	200m	準	2-4	14 : 40
8	2 男	100m	予	4-3+4	11 : 20	24	共男	400m	準	2-4	14 : 50
9	3 女	100m	予	4-3+4	11 : 35	25	1 女	1500m	予	2-6+3	15 : 00
10	3 男	100m	予	4-3+4	11 : 50	26	1 男	1500m	予	2-6+3	15 : 20
11	共女	200m	予	4-3+4	12 : 05	27	23女	1500m	予	2-6+3	15 : 35
12	共男	200m	予	4-3+4	12 : 20	28	23男	1500m	予	2-6+3	15 : 50
13	共男	400m	予	4-3+4	12 : 40	29	低女	4×100mR	予	4-1+4	16 : 05
14	共女	800m	予	3-2+2	13 : 00	30	低男	4×100mR	予	4-1+4	16 : 25
15	共男	800m	予	3-2+2	13 : 15	31	共女	4×100mR	予	4-1+4	16 : 45
16	1 女	100m	準	2-4	13 : 30	32	共男	4×100mR	予	4-1+4	17 : 05

【フィールド競技の部】

順	種別	種 目	予決	時 刻	競技ピット	順	種別	種 目	予決	時 刻	競技ピット
1	共男	棒 高 跳	決	10 : 00		4	共女	走 幅 跳	決	13 : 30	
2	共女	走 高 跳	決	10 : 00		5	共男	四種 砲丸投	決	13 : 30	
3	共男	砲 丸 投	決	10 : 00		6	共女	四種 走高跳	決	13 : 30	

競技2日目 7月15日(月)

【トラック競技の部】

順	種別	種目	予決	組-着+α	時刻	順	種別	種目	予決	組-着+α	時刻
1	共女	100mH	準	2-4	9:30	14	共女	100mH	決	1-8	12:15
2	共男	110mH	準	2-4	9:40	15	1女	1500m	決	1-8	12:30
3	1女	100m	決	1-8	10:00	16	1男	1500m	決	1-8	12:40
4	1男	100m	決	1-8	10:10	17	23女	1500m	決	1-8	12:50
5	2女	100m	決	1-8	10:20	18	23男	1500m	決	1-8	13:00
6	2男	100m	決	1-8	10:30	19	共女	四種200m	決	4	13:15
7	3女	100m	決	1-8	10:40	20	共男	四種400m	決	4	13:30
8	3男	100m	決	1-8	10:50	21	共女	800m	決	1-8	13:50
9	共男	3000m	決	1-8	11:00	22	共男	800m	決	1-8	14:00
10	共女	200m	決	1-8	11:20	23	低女	4×100mR	決	1-8	14:30
11	共男	200m	決	1-8	11:30	24	低男	4×100mR	決	1-8	14:35
12	共男	400m	決	1-8	11:45	25	共女	4×100mR	決	1-8	14:40
13	共男	110mH	決	1-8	12:00	26	共男	4×100mR	決	1-8	14:45

【フィールド競技の部】

順	種別	種目	予決	時刻	競技ピット	順	種別	種目	予決	時刻	競技ピット
1	共男	走幅跳	決	9:30		4	共女	砲丸投	決	11:30	
2	共女	四種砲丸投	決	9:30		5	共男	走高跳	決	11:30	
3	共男	四種走高跳	決	9:30							

2 野 球 競 技

1 日 時 7月14日(日) 9:00 競技開始(開門時間 7:00) 監督会議なし
7月15日(月) 9:00 競技開始(開門時間 7:00)

2 会 場 弘前市運動公園野球場 岩木山総合運動公園野球場
黒石運動公園野球場 平川市尾上野球場

- 3 大会特別規定
- (1) 2019年公認野球規則及び本規定による。
 - (2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
 - (3) 使用器具は(公財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
 - (4) トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。試合続行不可能の場合は5回表以降をもって正式試合とみなす。暗黒・降雨で試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)でも、5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合でも、原則として再試合にしないで、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。ただし、決勝戦は再試合とする。
 - (5) 点差によるコールドゲームは5回表以降が7点以上のときに適用する(決勝を除く)。
 - (6) 延長戦は、9回までとし、勝敗が決しないときには、特別延長戦を行う。
特別延長戦は次の方法で行う。

継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2、3塁の走者は、順次前の打者とする。すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は、以後継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

- (7) 天候等による大会の実施の可否、試合の中断及び日程の変更は大会本部で決定し連絡する。なお、やむを得ない場合は、抽選により勝敗を決する場合もある。その場合、会場を変更したり、ナイターで試合を行う場合もある。
- (8) 試合会場の施設状況により、会場特別ルールを設定することもある。
- (9) ベンチは組み合わせの番号の若い方を1塁側とする。
- (10) 用具装具については、試合前に審判員または大会役員の確認に応じなければならない。
- (11) 試合を行っているチームの行為が原因で、試合続行が不可能となるようなトラブルが発生した場合は、起こしたチームが責任を負うべきであるから、そのチームを敗者とする。
- (12) 選手の頭髪・身なりなどは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、スポーツマンらしい態度で大会に参加すること。
- (13) 応援団については監督又は引率責任者が責任を持つ。
- (14) その他、詳細規程については、出場校に直接連絡する。

4 参加資格

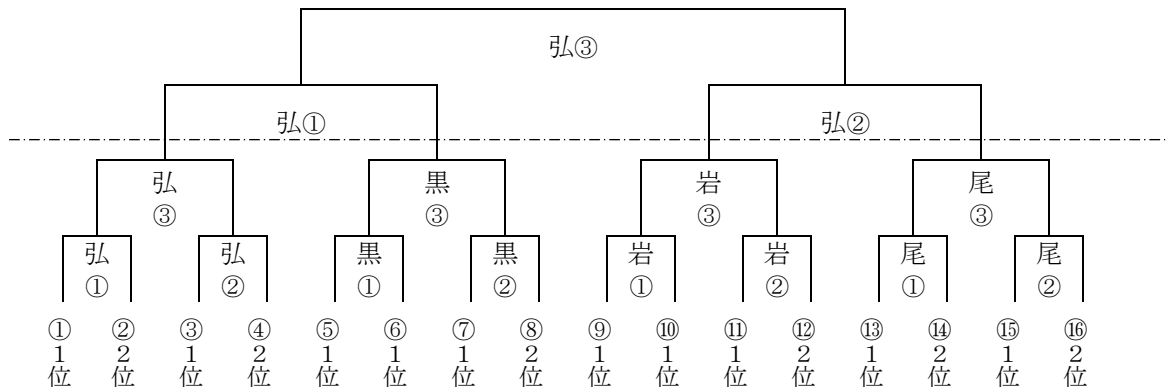
- (1)参加チームは以下の通りとする。
 - ア 地区大会参加校数の多い地区に出場枠を2枠与える。
 - ①上北、八戸、青森、弘前、下北は2チーム参加。
 - ②北五、南、西つがる、東、三戸は1チームの参加。
 - イ 中体連共催の青森県秋季新人野球大会で、優秀な成績を収めた地区に1枠を与える。但し、すでに2枠獲得している地区には与えないこととし、出場枠を与える基準を次の通りとする。
 - ①優勝校所属地区
 - ②準優勝校所属地区
 - ③優勝校に敗れたチームが所属する地区(暫定3位)
 - ④準優勝校に敗れたチームが所属する地区(暫定4位)
 - ⑤競技開催隣接地
 - ・青森ブロックの場合…北五
 - ・弘前ブロックの場合…南
 - ・八戸ブロックの場合…三戸
- (2)参加申込みは、別紙用紙(様式)を用いる。
- (3)1チームの編成は、監督1名、選手18名以内、スコアラー1名(生徒)とする。また、この他に教職員・部活動指導員を2名追加することができる。但し、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、計22名以内とする。なお、監督は背番号30、コーチは28、29をつけるものとする。

※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。

※引率責任者…監督または教職員が兼ねてもよい。

5 組み合わせ

弘：弘前市運動公園野球場 岩：岩木山総合運動公園野球場
 黒：黒石運動公園野球場 尾：平川市尾上野球場



※試合開始予定時間（2試合との間隔を最低1時間あける。）

(1日目)				(2日目)			
①	②	③	④	①	②	③	④
9:00 ~	11:00 ~			9:00 ~	11:00 ~		
③第2試合終了1時間後				③第2試合終了1時間後			

※代表決定戦が行われる場合は、決勝は第4試合となる。

6 抽選方法

- (1)同地区の学校が同じブロックに入らないように、1位校、2位校の位置を振り分ける。
- (2)1位校を先に抽選する。ただし1枠地区が①～⑧に2校、⑨～⑯に2校入るよう抽選する。
- (3)1位校が入ったブロックと別ブロックに同地区2位校が入るよう抽選する。

7 東北大会出場権

- (1)本大会における決勝進出2チームを東北大会への本県代表チームとして推薦する。但し、全日本少年軟式野球大会に参加申し込みしたチームは、東北大会へは推薦しない。
 また、そのチームが決勝に進んだ場合、決勝に先立って代表決定戦を行う。その場合、第2試合終了後40分間の間隔を空け、決勝戦は代表決定戦が終了し次第行う。
- (2)荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかった場合は、次のようにする。
 - ・競技が行われない場合は、地区代表1位チームで抽選を行う。
 - ・競技が途中で打ち切られた場合は、勝っているチームと試合を行っていない地区代表1位チームで抽選を行う。

8 その他

〈荒天時の対応について〉

- ①日程の変更を伴う場合のみ、電話連絡する。
- ②各会場責任者は、県競技委員長に6:00までにグラウンド状況を報告する。
- ③県競技委員長から、地区委員長へ変更内容を電話連絡する。
- ④地区競技委員長から、出場校（引率教職員）へ電話連絡する。
- ⑤1会場のみ状況が悪い場合でも、日程を調整して実施する。連絡方法は、③④の通り。

3 ソフトボール競技

- 1 日 時 7月13日(土) 監督会議 16:30 弘前市運動公園野球場 多目的室2
7月14日(日) 競技開始 9:00
7月15日(月) 競技開始 10:00
7月16日(火) 予備日

2 場 所 平賀総合運動施設 (多目的広場・ひらかドーム)

3 競技規則及び大会規定

- (1)ルールは、(公財)日本ソフトボール協会2019年度オフィシャルソフトボール及び、競技者必携大会規定による。
- (2)3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合は、得点差コールドゲームを適用する。
- (3)捕手は準備投球の時もスロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用する。捕手以外の選手が捕球するときは、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用する。監督・コーチが準備投球の捕手をする場合は、スロートガード付きマスクを着用する。また、捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
- (4)金属製スパイク、セラミック製スパイクは禁止する。
- (5)抗議(プロテスト)は、監督に限る。また、コーチのフィールドイング時以外のグラウンドに入ることは禁止する。
- (6)サスペンデットゲームを採用する。
- (7)7回終了時同点の場合は、8回よりタイブレーカーを適用する。ただし、14回終了時まで決着しない場合は、ラストメンバー(1チーム9名ずつ)による抽選とする。
- (8)ベースコーチは選手のみとし、ヘルメットを着用する。
- (9)状況により、時間制、イニング制限を設けることもあり得る。

4 参加資格 各地区代表1チーム(8校)及び地区大会の参加校数が2チーム以上の地区からもう1チームずつ(7校)、計15チーム以内とする。

5 チーム編成

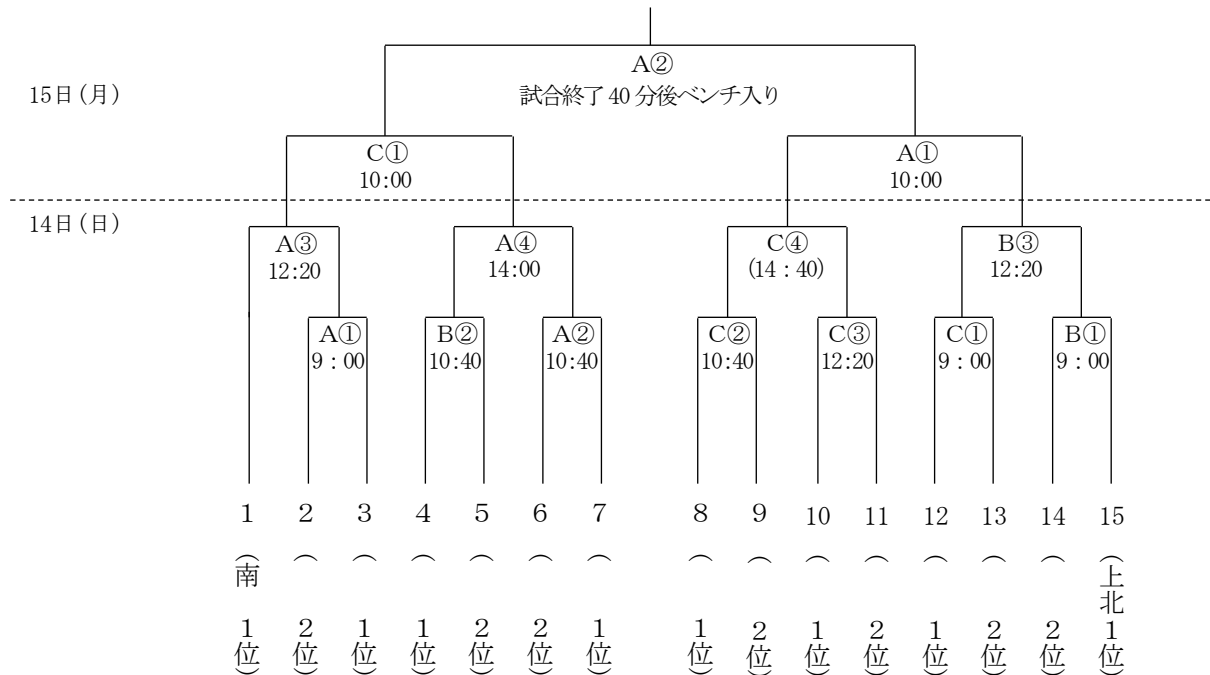
- (1)選手は18名までとし、主将はユニフォームナンバー10をつける。
- (2)ベンチ入り人数は、選手18名以内、監督1名、引率責任者1名以内、コーチ1名以内とする。
- (3)監督のユニフォームナンバーは30、コーチは31または32とする。コーチのフィールドイングは認めるが、競技中はベンチから出られない。
- (4)監督、引率責任者は当該校の教職員・部活動指導員とする。コーチは、当該校の教職員・部活動指導員、もしくは当該校の校長が承認した外部指導者とする。部活動指導員が監督、引率をする場合は、校長・顧問または当該部活動を担当する教職員がチームに帯同すること。
- (5)合同チームの場合も編成は同じとする。

6 抽選方法について

- (1)昨年度秋に行われた県新人大会1位・2位の地区をシード(1・15)する。
※平成30年度の結果は1位・中郷中、2位・上北中。よって南地方の1位、上北地方1位をシードとする。
- (2)参加校数が1校の北五地区が1位枠(8、10、12)の中から抽選する。
- (3)(1)(2)に該当する地区以外の1位は、1位枠の中からフリー抽選する。
- (4)各地区の2位は、同地区の1位と逆ブロックになるように2位枠の中から抽選する。

7 組み合わせ

A 球 場 多目的広場 ソフトボール場
 B 球 場 多目的広場 野球場
 C 球 場 ひらかドーム



試合時間 14日(日)

(予定) ① 9:00～ ② 10:40～ ③ 12:20～ ④ 14:00～

連続して試合がある時は試合終了40分後ベンチ入りとする。

※各球場のバックネット前に、両監督が集まり、時間を確認する。

15日(月) ① 10:00～

8 東北大会出場権

(1)本大会の上位2チームを8月2日(金)～4日(日)に山形県山形市で行われる東北大会に推薦する。

(2)荒天・災害により、会期中に競技を消化できなかった場合は抽選とし、下記の方法で東北大会出場校を決定する。

- ・ 1回戦を終えベスト8以上が決定している場合は、
2回戦→8チーム 準決勝→4チーム 決勝→2チーム(順位)で抽選を行う。
- ・ 1回戦を出来なかった場合は、各地区第1位のチーム(8チーム)で抽選を行う。

9 その他

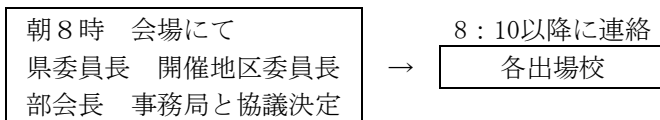
(1) 閉会式表彰について

①準決勝終了後、すぐに3位の表彰式を行う。

②閉会式は決勝進出の2チームが参加して行う。

(2) 13日の監督会議には全チームの監督が参加すること。

(3) 【荒天時の連絡について】



4 サッカー競技

- 1 日 時 7月13日(土) 監督会議 16:30 弘前市運動公園野球場 多目的室3
7月14日(日) 競技開始 10:00
7月15日(月) 競技開始 10:00
- 2 場 所 ・岩木山総合運動公園多目的グラウンド
・弘前市運動公園陸上競技場
・弘前市運動公園球場
- 3 競技規定 (1)(公財)日本サッカー協会制定の2018/2019年度『サッカー競技規則』による。但し、以下のように制定する。
(2)参加チームは学校単独チームか、合同チームの場合は『青森県中学校体育大会における複数校合同チーム参加規定』を満たした選手18名以内とし、変更は監督会議で行い、これを最終とする。
(3)ベンチ入りできるのは選手18名以内と監督・コーチ・引率者かマネージャー(生徒)の3名以内で監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。引率者は当該校の教職員とする。
コーチについては校長の認めたものとする。なお、各チームは必ず帯同審判員を同行するものとする。
監督、コーチ、引率者かマネージャーとして登録した者は、当該校の試合中はベンチ以外でのコーチング・観戦等はできないものとする。
(4)交代に関しては、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
(5)試合球は5号球とし、競技規則第2条に適合するもので、大会本部において準備する。
(6)本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。なお、決勝戦での退場による出場停止処分の未消化分は東北大会へ引き継がれる。
(7)本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
- 4 競技方法 (1)ノックアウト方式とし、3位決定戦は行わない。
(2)試合時間は60分(30分ハーフ・ハーフタイムは10分間)とする。
勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)延長し、なお、決しないときは、PK方式により次回戦に進出するチーム及び優勝チームを決定する。
(3)気温に応じて飲水タイムやクーリングブレイクを設ける。
(4)テクニカルエリアを設け、ベンチ入りした役員(引率・監督・コーチ)のうち、その都度1名がその範囲内で指示することができる。
(5)アディショナルタイム表示を行う。
(6)準決勝が終了して、2時間以上空けて決勝戦を行うことを原則とする。
(7)マネージャーズミーティングを試合開始70分前に行う。
- 5 ユニフォーム (1)ユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)は、フィールドプレイヤーとゴールキーパー、さらにそれぞれの正と副で異なる色のシャツ、パンツ、ストッキングを参加申込書で登録し、それを着用するものとしてすべてを携行すること。
(2)審判員と同一色または、類似色(黒または紺)のユニフォームをシャツに用いることはできない。また、パンツ又はストッキングのいずれかは黒でも可とする。ゴールキーパーについても同様である。
(3)シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号(1~99番まで)をつけること。パンツの番号についてはつけることが望ましい。(副のユニフォームについても同様である。)
(4)選手番号の大きさは、シャツの背中で縦25cm程度、前面で縦10cm程度、パンツにつける場合は縦8cm程度とし、それぞれ横はこれに比例して適当な大きさとし、番号は見やすいものとする。なお、ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、台布等(縦30cm×横30cm位)に背番号を付け、分かりやすくすること。

6 東北大会出場について

本大会、決勝進出2チームを東北大会に推薦する。

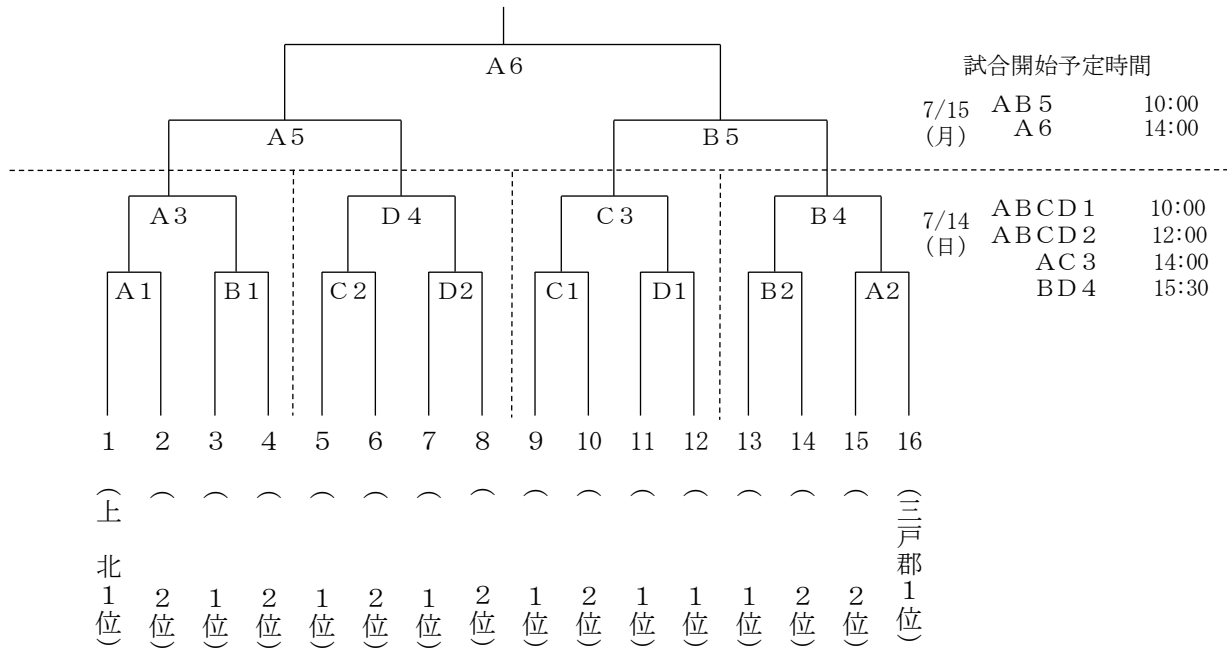
荒天・災害により、会期中に競技を消化できなかった場合、東北大会の出場チームは勝ち残っているチームより抽選で選出する。

7 参加チーム

各地区代表1チーム(9チーム)及び、地区大会の参加校数が多い地区からもう1チームずつ(7チーム)、計16チームとする。

8 組み合わせ

- A : 岩木山総合公園 多目的グラウンドA
- B : " " B
- C : 弘前市運動公園 陸上競技場
- D : " " 球技場



※ベンチは本部テントからグラウンドに向かい左側を、組み合わせ番号(1~16)の小さいチームが使う。

9 抽選について

(1)昨年度の県秋季新人大会、1位チームの4地区の中から抽選により1と16を決めた(上北・三戸郡)(12/8 地区委員長会議において)

(2)1回戦で地区代表1位同士が対戦しないようにする。(西つと下北は地区代表1チームなので、1~8、9~16で一緒にならないように先に分ける)

※1試合は地区代表1位同士対決がある

(3)同地区代表をブロック分けする。

以上を基準として次の手順で抽選する。

県秋季優勝 青森山田中(青森)

五戸中(三戸)

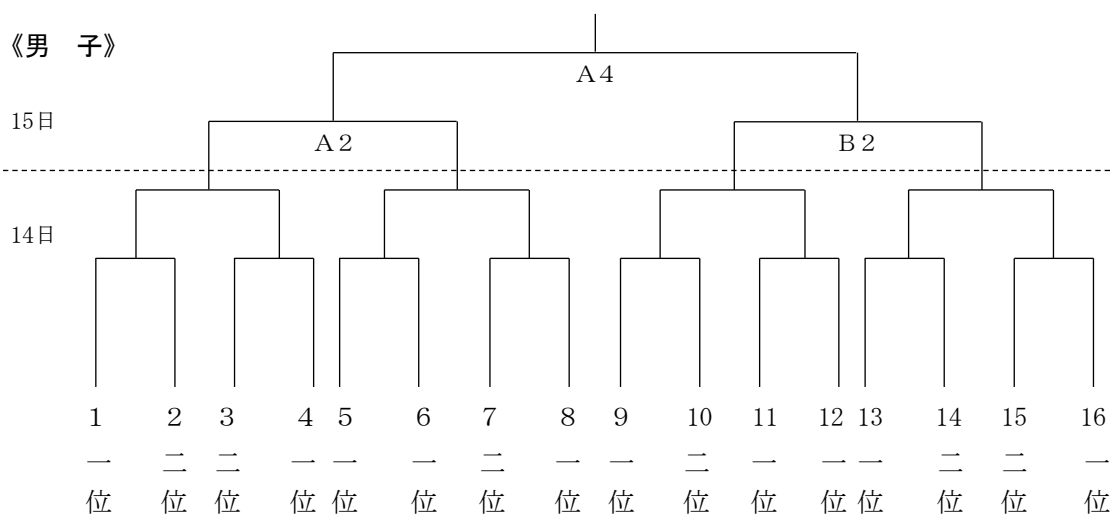
木ノ下中(上北)

弘前二中(南)

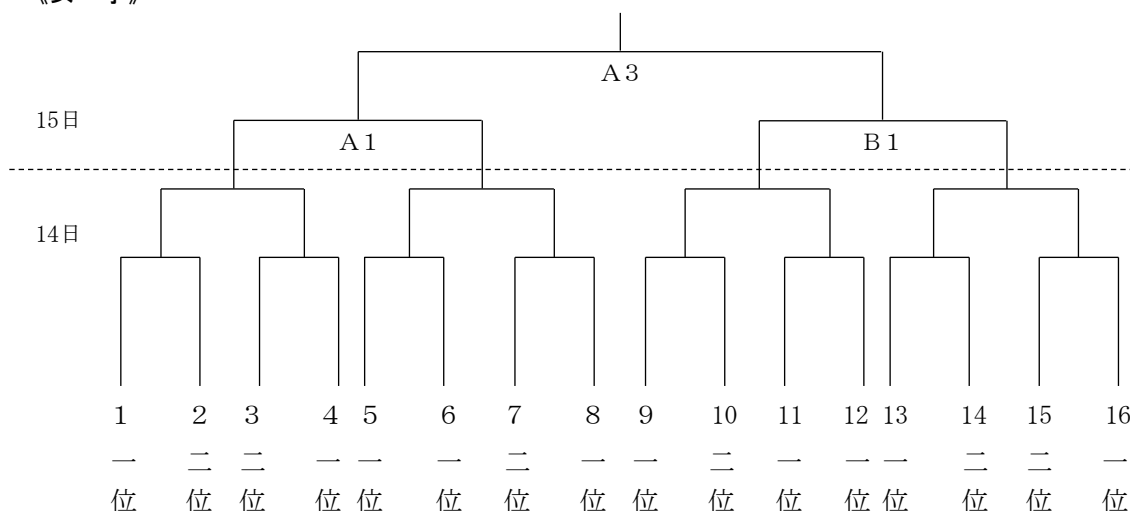
※台風の影響により4校同時優勝

5 バスケットボール競技

- 1 日 時 7月14日(日) 競技開始 9:00～ (開館 8:00) 監督会議なし
7月15日(月) 競技開始 9:30～ (開館 8:30)
- 2 場 所 マエダアリーナ
- 3 競技規則 (1)現行(2018～)の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。ただし、ユニフォームについては従来通りとする。またゾーンディフェンスを禁止とし、マンツーマンコミッショナーを配置して、マンツーマンディフェンスを監督・管理する。その際、マンツーマンディフェンス基準規則に違反と判断された場合、1回目は警告のみとし、改善しない場合は2回目の警告が成され、マンツーマンペナルティーとして対処する。なお、ゲーム終了間際(第4ピリオド・延長時限)残り2分を切っからの違反については、1回目の警告でもマンツーマンペナルティーの対象とする。
(2)16チームのトーナメント形式で行う。
(3)参加資格は下記に準ずる。
①各地区から1チーム出場。
②競技開催地区から1チーム出場。
③令和元年度県春季大会ベスト4地区から1チームずつ出場。
④上記を踏まえて、残りの出場チーム数は、地区大会への参加校の多い地区から順に出場を決定。参加校数が同数の場合は、部会長立会いのもと抽選で決定する。ただし、各地区出場チーム数は2チームを上限とする。
(4)1チームの編成は、監督・引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名、合計19名以内とする。
監督・引率責任者は当該校の教職員・部活動指導員とする。コーチ、アシスタントコーチについてはどちらか1名教職員以外でも構わない。その場合、当該校の校長が認めたとする。また、マネージャーは、教職員又は生徒とする。
(5)ベンチはテーブルオフィシャルに向かって番号の若い方が右側、ユニフォームは白色とする。
(6)番号は4～18の通し番号とする。
- 4 試合方法 トーナメント形式による。



《女子》



◎試合会場

A～Dコート マエダアリーナ

◎タイムテーブル

1日目 (7/14) 開始時間		2日目 (7/15) 開始時間	
① 9:00	④ 13:00	① 9:30	④ 13:30
② 10:20	⑤ 14:20	② 10:50	* 14:50(男子決勝戦終了後)
③ 11:40	⑥ 15:40	③ 12:10	※閉会式・表彰式

5 抽選方法

(1)本年度の県春季大会のベスト4地区をシードし、4分割トーナメントに配分する。

(県春季大会は第3・第4シード決定戦を行う)

(2)同じ地区が同ゾーン(2分割)に入らないように、地区の1位と2位を振り分けるが、県春季大会の結果により、同じ地区が同ゾーンに入る場合がある。その場合は同じ地区が準決勝まで対戦しないようにする。

(3)上記を踏まえて、県中学校春季バスケットボール大会の結果をもとに抽選する。

6 確認事項

男女で出場しているチームを考慮し、組合わせ抽選後に会場・タイムテーブルを調整する。

7 会場使用上の注意

- (1)ギャラリーのてすりをたたいての応援を禁止する。
- (2)ビデオ撮影等で会場の電源を使用することを禁止する。

8 東北大会出場について

(1)本大会において、男女各1～2位のチーム(合計4チーム)を8月8日～10日に青森県青森市で行われる東北大会に推薦する。

(2)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合は、県春季大会の1位と2位のチームを推薦する。

6 バレーボール競技

- 1 日 時 7月13日(土) 監督会議 16:30 (青森県武道館会議室)
7月14日(日) 競技開始 8:30 (男女1回戦～準々決勝) (開館 7:30)
7月15日(月) 競技開始 9:00 (男女準決勝～) (開館 8:00)
- 2 場 所 つがる市柏総合体育センター A・B (14日男女 15日男女)
つがる市稲垣体育館 C・D (14日男女)
- 3 競技規則 (1)2019年度日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び日本中体連バレーボール競技部における6人制ルールの取り扱いについて、による。
(2)本大会において、給水のためのタイムアウトを採用する。
- 4 競技方法 トーナメント法、3セットマッチとする。代表決定戦を行う。
- 5 チーム構成 チーム構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とし、監督は当該校の教職員とする。コーチは当該校の校長が認めた者とする。マネージャーは生徒に限る。
- 6 参加チーム 各地区大会の結果、出場権を得たチーム。各地区代表男女各2チーム以内とする。計20チーム以内とする。
- 7 抽選について (1)組み合わせ表の男子は1、9、10、17、女子は1、10、11、20をシードとし、それぞれ第1、第4、第3、第2シードとする。
(2)県春季大会の1位～4位の地区をシードする。
(3)上記をふまえて同地区が同じゾーンに入らないように1位と2位を振分け、オープンにて抽選する。(先に残りの1位を抽選し、次に2位校を抽選する。)
- 8 競技上の確認事項 (1)試合間合同練習を5分間設定する。
(2)ベンチ及びフロアーには登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることはできない。
(3)外部コーチは学校長が認めた者のベンチ入りを認める。
(4)監督・コーチ・マネージャーマークは左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の背番号の下に規定のマークをつけること。
(5)監督・コーチの服装は統一された服装でベンチにはいること。またマナーについては十分に留意すること。
(6)エントリーの変更について
①申し込み時の選手名と変更があるときには、監督会議の受付でメンバー表の提出をもって変更とする。
②外部コーチは学校長の職印をもって認める。参加申込みの際「外部コーチ確認書」を提出すること。
- 9 日 程
(1)7月14日 (開館 7:30) (2)7月15日 (開館 8:00)
7:30～8:10 各チームのフリー練習 8:00～ 各チームのフリー練習
8:10～ 第一試合のチームのみの練習 8:40～ 第一試合のチームのみの練習
8:19～ プロトコール 8:49～ プロトコール
8:30～ 競技開始 9:00～ 競技開始
- 10 東北大会出場について (1)本大会において、1位～3位チームを東北大会に推薦する。(男女各3チーム)
開催日: 8/7(水)～8/9(金)
場 所: 岩手県花巻市(花巻市総合体育館)
(2)3位2チームで代表決定戦を行う。
(3)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合は次のようにする。
①大会の開催が不可能である場合、推薦チームは第1シード校、第2シード校、第3シード校とする。辞退校がある場合は第4シード校に権利が移る。出場枠3に満たない場合は、地区1位チームから抽選により決定する。
②大会が開催され、試合が成立している場合は、その結果を有効とする。その上で、勝ち残りのチームを対象に、最上位シード校から推薦する。出場枠3に満たない場合は、勝ち残りの地区1位チームからの抽選により決定する。地区1位チームが勝ち残っていない場合は、勝ち残りの地区2位チームからの抽選により決定する。
- 11 確認事項 (1)フロアーは土足厳禁です。盗難防止のため下足は各自で管理してください。
(2)会場に選手の控室はありません。選手は観客席を利用して下さい。貴重品はチームで責任を持って管理してください。
(3)昼食の斡旋はしませんので各チームでお願いします。

- (4)ゴミはチームの責任で必ず持ち帰って下さい。
- (5)立入禁止の表示がある場所には入らないでください。

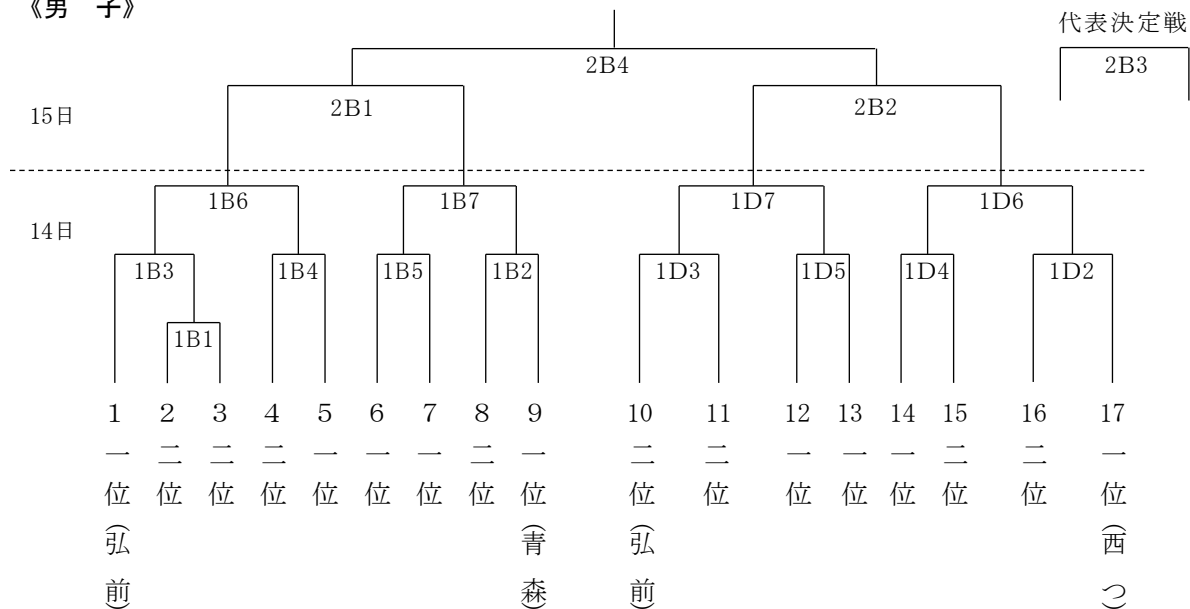
12 その他

- (1)7月13日16:30より監督会議を行います。(時間厳守)
- (2)多数の応援団がある場合は事前に本部に連絡して指示を得てください。

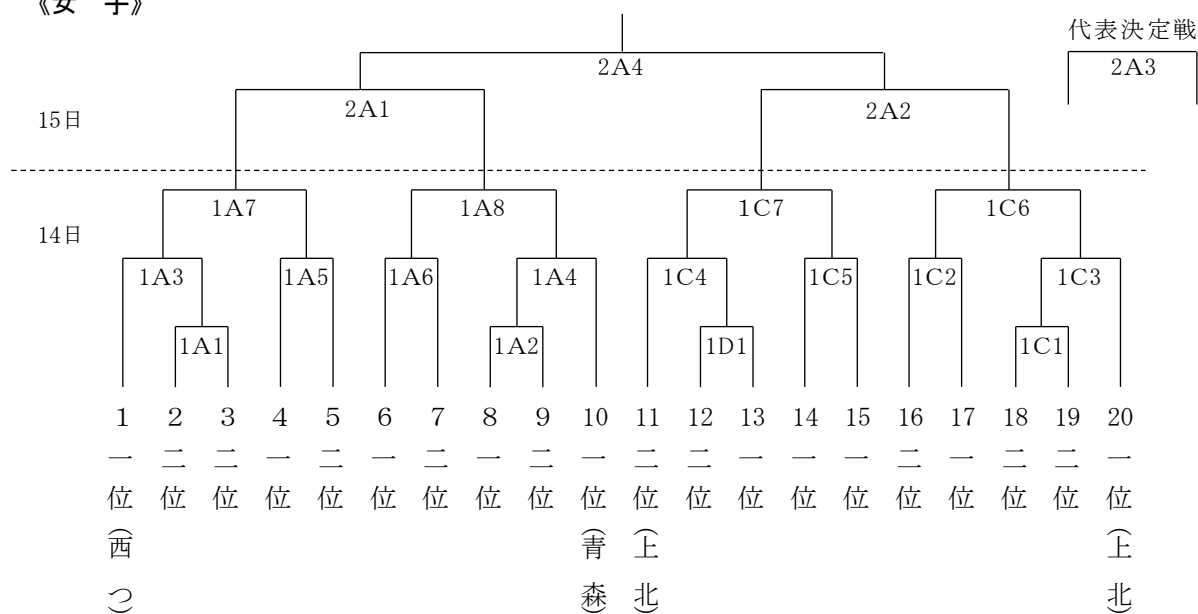
13 組み合わせ

地区名が記載されているのは、県春季大会の結果を受けて、シード地区が決定したため。

《男子》



《女子》



7 バドミントン競技

- 1 日 時 7月14日(日) 団体戦・個人戦
8:00 開館
8:05 練習開始(5分交替で練習)
8:20 監督会議(全員出席すること)
8:40 開始式(選手は全員ユニフォームで参加)
9:15 競技開始(団体戦決勝・個人戦)
- 7月15日(月) 8:00 開館
9:00 競技開始(個人戦決勝まで)
競技終了後、閉会式(選手は全員ユニフォームで参加)
- 2 場 所 スポカライン黒石
- 3 競技規則 **【全般的】**
(1)大会要項及び、2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に準じて実施する。
(2)2019年度(公財)日本バドミントン協会第2種検定に合格した水鳥シャトルを使用する。
(ヨネックス、ゴーセン、メトロレジャー、ミズノ)
(3)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。
【団体戦】
(1)団体戦の男女各チームは2ダブルス、1シングルスで構成し、選手5～7名と監督(教職員・部活動指導員)1名、マネージャーもしくはコーチ1名とする。
(2)団体戦の勝敗はすべて2点先取制とする。
(3)試合の進行状況により、コートを2面、3面にわたって試合を進めることがある。
(4)オーダーは試合20分前(または指示のあった時刻まで)に記録係に提出する。
(5)試合の順序は第1ダブルス、シングルス、第2ダブルスの順とする。
(6)練習はマッチごとに2分ずつ行う。
【個人戦】
(1)個人戦でベンチ入りできるのは、監督(教職員、部活動指導員)1名、マネージャー(教職員・生徒)・コーチ・アドバイザーのうち1名とする。
(2)コーチ・アドバイザーは当該校の校長が認めた者とする。
(3)練習は同時に3分とする。
【審判上の注意】
(1)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。
(2)次の行為は厳に慎む。
①必要以上の汗ふきや靴のひもの結び直し。
②極端に遅いレシーバーの構え、サーバーの長い静止。
③相手を威圧するような行為・発声・声援。
- 4 競技方法 (1)団体戦、個人戦ともトーナメント戦方式で行い、第3代表決定戦を行う。
(2)団体戦は2複1単で行う。
- 5 表彰 (1)団体戦は3位までに団体賞状及び個人賞状を与える。
(2)個人戦は5位(ベスト8)までに個人賞状を与える。
- 6 参加資格及び制限 **【団体戦】**
(1)各地区中体連夏季大会を通過した代表2チーム以内とする。但し、県春季大会でベスト4に3つ以上入賞した地区に、別枠として代表を1チーム与える。
(2)同一選手が単と複を兼ねて出場できない。

【個人戦】

(1)各地区中体連夏季大会を通過した代表シングルス4以内、ダブルス4以内とする。

但し、県春季大会シングルス・ダブルスのそれぞれ1～4位の地区に、別枠として代表を1枠ずつ与える。

(2)個人戦は単複を兼ねて出場することはできない。

7 組み合わせ 参加数によりトーナメントを作成する。

8 抽選方法 (1)県中学校春季バドミントン選手権大会の各種目ベスト4の地区をシードする。

(2)団体戦は1／8ゾーンに1位の地区を振り分ける。

(3)上記以外は、同地区が同ゾーンに入らないように振り分ける。

9 東北大会出場について

(1)男女とも団体戦・個人戦の第3代表までを東北大会に推薦する。

(2)荒天・災害のため会期中に競技を消化できない場合、県春季大会の結果から順位を決定する。

10 その他

(1)検定ウェアを着用すること。上衣の背面中央部に、学校名及び姓を入れて、同姓の選手がいる場合は名前の一文字目を小さく入れる。マークの大きさは、縦 15 cm、横 30 cm。文字は鮮明な日本字で入れること。

明 徳 中 太 田 理

(2)選手変更等について

<団体戦>

・団体戦で申し込み後に選手を変更する場合は、所定の用紙により、当該校の校長により、県専門委員長を通して大会本部に届け出る。ただし、監督会議後の変更は認めない。

<個人戦>

①ダブルスに出場予定の選手のうちの一人が病気等の事情により大会に出場できない場合は、所定の用紙により当該校の校長により県専門委員長を通して、大会本部に届け出、1日目の監督会議で確認する。その場合は当該校から個人戦に登録されていない選手を補充できる。

ダブルスの組二人とも出場不可能な場合は、当該校の校長より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。

②シングルスに出場予定の選手が大会に出場できない場合は、当該校の校長より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。

8 ソフトテニス競技

- 1 日 時 7月13日(土) 《公式練習》
9:00 公式練習
12:00 公式練習終了
7月14日(日) 《個人戦》
8:00 コート開放(個人)、地区委員長会議
8:20 選手受付(個人戦出場者のみ)
監督会議(個人戦監督)
※荒天時の場合でも監督打ち合わせを行うので、必ず出席すること。
8:45 開始式
9:00 競技開始
17:00 個人戦表彰式
17:30 1日目競技終了
7月15日(月) 《団体戦》
8:00 コート開放(団体)、地区委員長会議
8:30 選手集合
監督会議(団体戦監督)
※荒天時の場合でも監督打ち合わせを行うので、必ず出席すること。
9:00 競技開始
16:00 団体戦表彰式及び閉会式
7月16日(火) 予備日(青森市スポーツ広場テニスコート)
- 2 場 所 新青森県総合運動公園テニスコート(砂入り人工芝コート20面)
- 3 参加資格 団体戦…各地区代表男女各2チーム以内
男女各校1チーム(4人~8人)とする。
個人戦…各地区代表男女各8組以内
- 4 監 督 (1)監督は、1組または1チームに対し、当該校の教職員1名とする。
(2)個人戦に2組以上出場する場合は、1組ずつ監督をつけることができる。この場合も当該校の教職員であること。
(3)監督の服装は、スポーツウェア(上は襟付きスポーツシャツ)とし、監督のIDカードを首から下げるものとする。
- 5 競技規則 現行の日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
- 6 競技方法 (1)団体戦…トーナメント方式による点取り法を2面展開で行う。
(但し、1試合目は全3試合を行うものとする)
(2)個人戦…トーナメント方式による7ゲームマッチとする。
(3)使用球…公認球(白)を使用する。
個人—男子ケンコー、女子アカエム
団体—ダンロップ
(4)天候等の理由により、競技方法及びゲーム数等を変更することがある。
(5)各コートにコート主任を置き、原則選手による敗者審判とする。
- 7 表 彰 団体戦は1位、2位、3位を表彰し、同時に3位まで団体個人賞を与える。個人戦は上位8組(準々決勝進出まで)を表彰する。
- 8 抽選について 団体戦…前年度の県下新人戦の成績をもとに4チームシードする。その際、シードは地区に与えるものとする。また各地区の1位同士がぶつからないよう、ブロック分けして抽選する。ただし、地区で2つシードを持っている場合は例外とする。シード1位と4位、あるいは2位と3位に同地区がシードされている場合、3位と4位を取り替える。

個人戦…前年度の県下新人戦の成績をもとに8組をシードする。その際、シードは地区に与えるものとする。組み合わせは、県競技委員長が組み合わせ委員会を組織し作成する。

9 東北大会出場について

(1)団体戦…男女各上位2チーム

個人戦…男女各上位6組

(2)荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかった場合、東北大会出場チーム・ペアの選出については、青森県中体連ソフトテニス専門部が定める災害時の選定方法に基づき、青森県中体連事務局、競技部長、ソフトテニス専門部との協議の上、対応していく。

10 その他

(1)選手変更について

①団体戦で申し込み後メンバーを変更する場合は、所定の用紙により当該校の校長より各地区の競技委員長を通して大会本部に届け出る。但し、その後の変更は認めない。(原則として団体戦の監督会議及び地区委員長会議の席上)

②個人戦で、1名が病気等で出場不可能になった場合、当該校の校長より地区委員長に当該生徒に代わる1名のメンバー変更を所定の用紙により申し出る。地区委員長は地区委員長会議及び個人戦受付時までに大会本部に届け出る。

③6月24日の県夏季大会組み合わせまでに組2名とも出場不可能になった場合には、当該校の校長は地区委員長に届け出る。地区委員長は予選の成績に基づいて次の組を推薦し、大会本部に届け出、地区委員長会議及び個人戦の監督会議で確認する。

組合せ会議後に組2名とも出場不可能になった場合には棄権とする。

(2)団体戦のオーダーは毎回提出する。(本部の用紙を使用する。)

(3)個人戦の申し込みは成績順とする。

(4)ベンチサイドは、組み合わせ番号の早い方をクラブハウス側とする。

(5)競技中ベンチに入れるのは、次の通りとする。

団体戦…選手8名以内、監督あるいは外部コーチ1名

個人戦…選手2名、監督あるいは外部コーチ1名

(6)審判への質問は、団体戦においてはプレーヤーあるいは監督(またはベンチ入りしている外部コーチ)、個人戦においてはプレーヤーがマナーを守り、マッチの進行に支障とならないように行うこと。

(7)競技進行に留意すること。呼び出し後5分経過で警告1回とし、3回をもって失格とする。

(8)選手の服装は、上は襟付き半袖のスポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。上記服装からはみ出すアンダーシャツ、スパッツは禁止。ユニフォームに特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。(テープやゼッケンで隠すのは可)

(9)背中に県名・校名・名前のゼッケンの4隅を縫い付ける。(ホック・マジックテープ、安全ピンも可)白地とし大きさはB5版横とする。詳細は全国大会要項に準ずるが、県連ゼッケンも認める。

(10)監督・選手とも、テニスシューズを着用する。

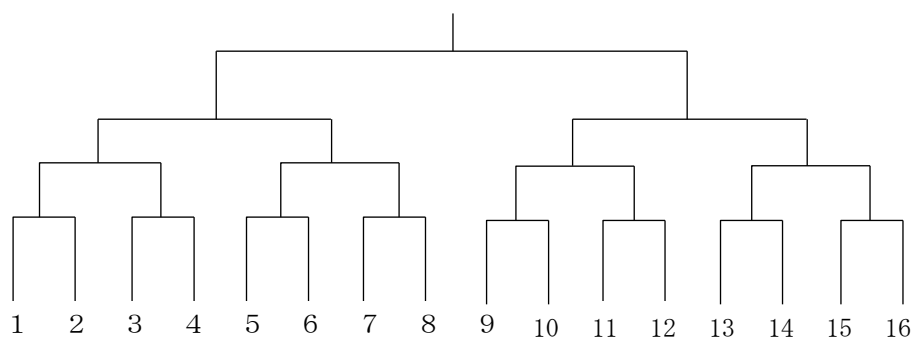
(11)外部コーチ確認書は、県大会申込書と同時に提出すること。また、外部コーチは別に定める外部コーチに関する規定を満たしていること。服装は監督に準じ、コーチのIDカードを首から下げる。

(12)外部コーチは、1組または1チームに対し、1名とする。

(13)ソックスの長さは、くるぶしより上で、ハイソックスは認めない。

ソフトテニス競技団体戦組み合わせ

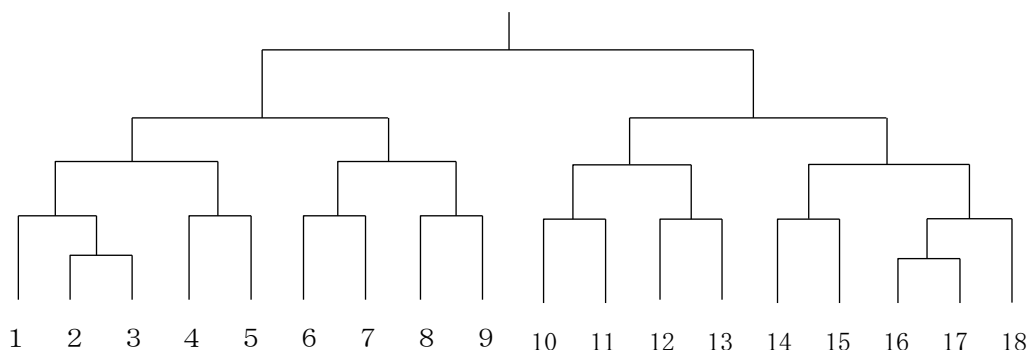
《男子》



弘 前								青 森	弘 前						南
1 位	2 位	2 位	1 位	1 位	1 位	2 位	1 位	2 位	2 位	2 位	1 位	1 位	2 位	2 位	1 位

- 抽選手順1・・・平成30年度県下新人戦結果よりシード地区：弘前、南、青森、弘前
 抽選手順2・・・各地区の1位抽選：八戸、北五、上北、下北、三戸
 抽選手順3・・・各地区の2位の抽選：左ブロック（右ブロックに1位が入った地区）
 右ブロック（左ブロックに1位が入った地区）

《女子》



上 北								北 五	弘 前						下 北		
1 位	2 位	2 位	2 位	1 位	1 位	1 位	2 位	1 位	1 位	2 位	2 位	1 位	1 位	2 位	2 位	2 位	1 位

- 抽選手順1・・・平成30年度県下新人戦結果よりシード地区：上北、下北、弘前、北五
 抽選手順2・・・各地区の1位抽選：青森、八戸、西つがる、南、三戸
 抽選手順3・・・各地区の2位の抽選：左ブロック（右ブロックに1位が入った地区）
 右ブロック（左ブロックに1位が入った地区）

9 卓 球 競 技

- 1 日 時 1日目 7月14日(日)
開 館 8:00
監督会議 8:10 (団体戦出場校の監督は必ず出席)
開 始 式 8:35
競 技 8:50~16:20 団体戦決勝まで
2日目 7月15日(月)
開 館 8:00
競 技 8:50~15:00 個人戦決勝まで (個人戦3・4位、5~8位決定戦あり)
閉 会 式 15:10~
- 2 場 所 岩木山総合公園体育館
- 3 競技規則 現行の(公財)日本卓球協会が制定した日本卓球ルール及び県中体連卓球競技特別規則(監督会議申し合わせ事項)を準用する。11本5ゲームマッチとする。
- 4 競技方法 (1)団体戦
① 同一校の選手6~8名、監督1名をもって編成・登録する。なお、監督の他にアドバイザーとして、コーチ1名のベンチ入りを認める。ただし、全校生徒が4~5名の場合でも出場を認める。その場合、5名の場合は1番、4名の場合は1・2番を棄権とする。
② 4単1複の5試合、3点先取法で行う。ただし、単と複に重複して出場することはできない。
③ 予選リーグの後、決勝トーナメントで順位を決定する。予選リーグは、6ブロックに分けた男女各4チーム以内で行い、各ブロックの1位のチームが決勝トーナメントに出場する。
(2)個人戦
① 男女ともシングルスのみとし、トーナメント方式による。
② アドバイザーとして校長の承認を得た当該校の監督・教職員・コーチまたは生徒1名のベンチ入りを認める。
(3)試合球は日本卓球協会公認球とする。(Nittaku PREMIUM 40+)
(4)試合に出場する選手は必ずゼッケンを装着しなければならない。
(5)団体戦、個人戦とも各ゲーム間に1分間以内の休憩を認める。
- 5 参加資格 (1)団体戦:各地区男女代表 各2チーム以内
(2)個人戦:各地区男女代表 各12名以内
※前年度の県新人戦の成績により、次の参加選手数を別枠として各地区に与える。
男子…青森市3名、上北地方3名、北五1名、南地方1名
女子…青森市1名、弘前地区3名、上北地方2名、下北地方1名、北五1名
- 6 抽選方法 (1)団体戦:前年度県新人戦のベスト8校の所属地区を6ブロックに分ける。その後は、抽選とする。ただし同一地区が決勝まで対戦しないようにする。
(2)個人戦:点数制を採用する。前年度県中体、前年度東北大会、前年度全国大会、前年度県新人戦、今年度県選手権の合計点数により、得点者のシード位置を決定する。その後は同地区選手の対戦がベスト16決定戦までないように県中体連卓球専門部が責任をもって組み合わせを作成する。ただし17名以上参加の地区はその限りではない。
- 7 引率・監督・コーチ (1)監督は出場校の教職員または部活動指導員であること。
(2)ベンチは次の通りとする。
①団体戦…同一校の選手8名、監督1名、コーチ1名をもって編成・登録し、ベンチ入りすることができる。なお、コーチは当該校の教職員もしくは校長の承認を得た外部指導者とする。
②個人戦…アドバイザーとして当該校の監督、教職員、コーチまたは同校の選手1名のベンチ入りを認める。
※監督・コーチはそれぞれ指定の記章をつけることとする。
- 8 東北大会出場枠 (1)団体戦:男女各3チーム
(2)個人戦:男女各8人
(3)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合、組み合わせ作成に使用した得点表をもとにした順位付け、または抽選によって東北大会への出場校、出場者を決定する。
- 9 登録変更 登録メンバー等の変更は監督会議までに当該校で変更届出用紙(職印必要)を提出することにより認められる。(追加登録はできない。)
*変更届出用紙は次のものを満たすものとする。
(日付・変更前選手(監督・コーチ)名・変更後選手(監督・コーチ)名・中学校名・校長名・職印)

10 柔道競技

- 1 日 時 7月14日(日) 7月15日(月)
- (1) 受付・計量 8:30～9:30 (1) 選手・役員集合 9:00
 柔道衣検査 8:30～9:30 (2) 審判打ち合わせ 9:10～9:20
 (2) 審判会議 9:30～9:45 (3) 試合開始 9:30～
 (3) 監督会議 9:45～10:00 (4) 閉会式
 (4) 開始式 10:10～10:25
 (5) 試合開始 10:30～
- ・団体戦 男子・女子とも決勝戦まで。
 ・個人戦 男子ベスト16、女子ベスト8が出そろうまで。
 ただし、17:00を過ぎて次の試合に入らない。
- 2 場 所 八戸市体育館
- 3 監 督 参加生徒の監督は、当該校の教職員であること。
- 4 参 加 数 (1) 各地区代表のチームおよび個人とする。
 (2) 団体戦は、各地区男子・女子ともに2チームまでとする。
 (3) チームは1校単位で編成したチームとする。
 1チームの人員は、監督1名、登録済みコーチ1名、男子8名以内、女子5名以内とし、試合ごとに選手の位置を変えることはできない。チームの編成は、体重の最も重いものを大将とし、以下順次体重順に編成すること。
 (4) 個人戦は男子8階級・女子8階級で、各階級とも各地区男子4名、女子3名とする。地区大会に出場した選手に限る。
- | (男 子) | | (女 子) | |
|-------|--------|-------|--------|
| 50kg級 | 73kg級 | 40kg級 | 57kg級 |
| 55kg級 | 81kg級 | 44kg級 | 63kg級 |
| 60kg級 | 90kg級 | 48kg級 | 70kg級 |
| 66kg級 | 90kg超級 | 52kg級 | 70kg超級 |
- 5 計 量 (公財)全日本柔道連盟発行柔道大会・試合運営要領(第2版)により以下の通り計量を行う。
 公式計量の30分前から非公式計量(仮計量)を行う。非公式計量では、時間内に自由に体重を測定することができる。
- (1) 団 体 戦
 ①公式計量は、1回である。
 ②公式計量は、本大会で指定された時間内で終了すること。
 ③公式計量の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。(下着は認める。包帯サポーター等の着用は一切認めない。)
 ④チームごとに選手、補欠全員測定を行うこと。
 ⑤順番の入れ替え等があった場合は通知する。
- (2) 個 人 戦
 ①公式計量は、1回である。
 ②公式計量は、本大会で指定された時間内で終了すること。
 ③公式計量では、定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。(柔道衣等の重さは含まない。)
- 6 競 技 規 則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年施行の新ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
 (2) 勝敗の判定規準は次の通りとする。

- ①団体試合の個々の試合においては、「一本」「技有」又は「僅差（【指導】の差2）」とする。
優劣の成り立ちは以下のとおりとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

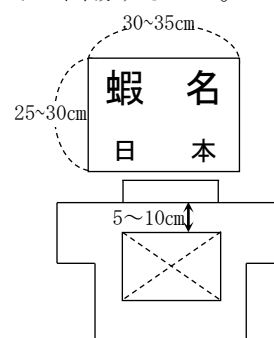
「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

- ②個人試合の勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差（【指導】の差2）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- (4) 有段者は、黒帯を用いること。
(講道館から正式に段位証明書が交付されている者。)
- (5) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地の丸首Tシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
- (6) ゼッケンの着用

柔道衣にゼッケン（学校名・名字入り）を縫いつけて出場すること。

- (例) ①布地は白色（晒、太綾）
②サイズは横30～35cm、縦25～30cm
③名字（姓）は上側2／3
④学校名は下側1／3
⑤書体は太字ゴシック体（明朝体でも良い）
男子は黒色・女子は赤色
⑥縫いつけの場所は後ろ襟から5～10cm下部で、対角線にも強い糸で縫いつけをする。



- ⑦（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿き、帯）を着用すること。

7 競技方法

- (1) 団体戦
①参加チームによって、トーナメント戦を行い優勝を決定する。
②トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
ア チーム間における勝ち点の数による。
イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、チームから選抜した代表戦（1名）により決定する。
- (2) 個人戦
①参加選手でトーナメント戦を行い、各階級ごとに優勝を決定する。
②試合とも、試合時間内で必ず勝敗を決定する。

8 表彰

- (1) 団体戦
第1位から第3位までのチームを表彰する。
- (2) 個人戦
第1位から準々決勝進出者までを表彰する。

9 申し合わせ事項

- (1) 審判の判定に抗議してはならない。
(2) 監督・審判会議には、競技委員と参加校監督（顧問）、審判員以外の参加は認めない。（コーチは参加できない）
(3) 試合場・フロア内には、監督・登録済みのコーチ・選手以外は入られない。
(4) 「試合場におけるコーチの振る舞い」について、「脳震盪対応について」を適用する。
(5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に

医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

10 抽 選

(1) 団 体 戦

①県中学校春季柔道大会の上位入賞校。男子4校・女子2校の地区をシードする。

②シード後は同地区チームが同ブロックに入らないよう振り分け、先に1位校を次に2位校を抽選する。

(2) 個 人 戦

①男女とも青森県中学校新人柔道大会上位入賞者、男子4名・女子2名の地区をシードする。

11 全国大会

本大会の男女団体戦優勝チーム及び男女個人戦優勝者を全国大会に推薦する。

12 東北大会

本大会の男子団体戦上位4チーム及び女子団体戦上位2チーム。男子個人戦各階級上位4名及び女子個人戦各階級上位2名を東北大会に推薦する。

13 そ の 他

(1) 必要事項については、監督会議において連絡する。

(2) 荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合、東北・全国大会出場チーム(選手)の選出は以下のようにする。

団体チームは昨年度県新人大会と今年度の春季大会を考慮し、個人選手は昨年度県新人大会を考慮し、(但し、同じ階級にエントリーした選手とする)競技部長と10地区専門委員長が相談、了承を得て選出する。

11 剣道競技

1 日 時 7月13日(土) 公式練習 9:00~12:00 青森県武道館 (アリーナ)
 地区委員長会議 9:30~ " (会議室)
 監督会議 11:00~ " (会議室)
 審判・監督合同稽古会 (希望者のみ) 17:00~17:45
 14日(日) 開館時間 8:00
 竹刀検量 8:10~10:30
 審判会議 8:20 " (会議室)
 開始式 9:00
 競技開始 9:30
 ・個人戦3回戦まで 9:30~12:30

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子 → 男子	1 ~ 20	21 ~ 40	41 ~ 60	61 ~ 80

・団体予選リーグ 13:30~16:00

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子	4-5	7-8	10-11	16-17
	1-2	8-9	13-14	17-18
	5-6	7-9	11-12	16-18
	2-3	4-6	14-15	10-12
	1-3		13-15	
男子	1-2	4-5	11-12	14-15
	8-9	6-7	18-19	16-17
	2-3	4-6	12-13	14-16
	9-10	5-7	19-20	15-17
	1-3	4-7	11-13	14-17
	8-10	5-6	18-20	15-16

15日(月) 開館時間 8:00
 竹刀検量 8:10~10:30
 審判会議 8:30 青森県武道館 (会議室)
 集合連絡 9:00
 競技開始 9:20
 ・個人戦4回戦以上 (ベスト16以上) 9:20~11:30

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子4・5回戦 (3試合)	1 ~ 20	21 ~ 40	41 ~ 60	61 ~ 80
男子4・5回戦 (3試合)	1 ~ 20	21 ~ 40	41 ~ 60	61 ~ 80
準決勝・決勝 (3試合)	男 子	女 子		

・団体戦決勝トーナメント11:30~14:30

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子1回戦 (1試合)	E2-D2	B1-F2	E1-A2	B2-C2
男子1回戦 (1試合)	E2-D2	B1-F2	E1-A2	B2-C2
女子2回戦 (1試合)	A1-()	()-C1	D1-()	()-F1
男子2回戦 (1試合)	A1-()	()-C1	D1-()	()-F1
準 決 勝 (1試合)	男子A1~C1	女子A1~C1	男子D1~F1	女子D1~F1
決 勝 (1試合)	男 子	女 子		

競技終了 14:30
 閉会式 14:45

2 場 所 青森県武道館

3 参加資格・編成

- (1) 団体戦（学校単位）1チーム男女とも監督1名、コーチ1名、選手5名以内、補員2名以内とし、監督は当該校の教職員、または、部活動指導員、コーチは当該校の校長が認めた者とする。（監督・コーチはプレートをつける）各地区代表男女2チームまでとする。

4 方 法

- (2) 個人戦 各地区代表男女8名までとする。（監督・コーチに関しては団体戦同様）
- (1) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び青森県中体連剣道競技申し合わせ事項による。
- (2) 竹刀の長さは114cm以内のもので、重さは男子440g以上、女子400g以上とする。竹刀先端の太さを男子25mm以上、女子24mm以上、先革の長さは50mm以上とする。
- (3) 試合時間 ①団体戦……3分 予選リーグの延長は行わない。決勝トーナメント戦は延長2分を1回だけ行う。ただし勝敗が決した場合は、それ以降の試合の延長は行わない。
②個人戦……3分 延長戦は2分刻みで勝負が決するまで行う。
- (4) 団体戦、個人戦とも3本勝負とする。
- (5) 団体戦は勝者数法。各予選リーグ1位と2位は決勝トーナメントへ進出する。
- (6) 予選リーグ戦の順位決定を次のようにする。
 - ①得点によるチームの勝ちを1点、引き分けを0.5点、負けを0点。
 - ②得点と同じ場合には、チームの勝数の多いチームを勝ちとする。
 - ③②でも同じ場合には、勝者数の総数による。
 - ④③でも同じ場合には、取得本数の総数による。
 - ⑤④でも同じ場合には、代表戦3分の1本勝負を行う。延長の場合は2分刻みで行う。
 - ⑥2位が決まらない場合は、代表戦3分の1本勝負を行う。延長の場合は2分刻みで行う。
 - ⑦リーグ1・2位が3・4すくみのときは、任意の代表者による代表戦を3分間3本勝負延長2分刻みで勝敗の決するまで行う。

5 競技上の注意

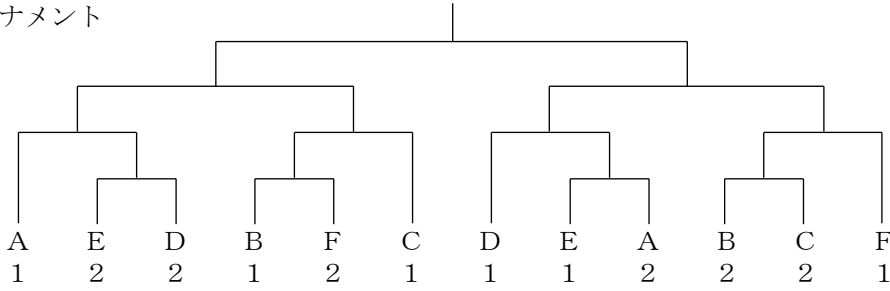
- (1) 原則として、所属地区の監督は審判しない。
- (2) 選手交代（代表戦選手の宣告も含む）及び試合に対する異議申し立ては監督のみとし、コーチはできない。
- (3) 各チームは出場時間10分前に必ず試合場で待つこと。
- (4) オーダー変更は認めない。選手交代は、補欠が2人まで交代することはできる。
- (5) 選手交代は、選手整列前に本部（開催地区委員長）に申し出ること。
- (6) 選手は「前垂」の中央上部に横書きで校名を、縦書きで姓を黒い布地に白抜きまたは、白刺繍、白張りの字を記した名札をつける。（着用していない場合は出場を認めない。）
- (7) 足にけがをしている場合は、テーピング及びサポーター（市販の剣道用のもの：青森県中体連申し合わせ事項による）の使用を認める。
- (8) 竹刀の検量は1日目、2日目ともに行うので必ず検量すること。
- (9) 面紐の長さは結び目から40cm以内とする（厳守）
- (10) 団体戦においては選手が5人に満たない場合、次鋒、副将の順で欠員とする。
- (11) 監督・コーチの服装は、男子が白シャツ、グレー系のズボン、ネクタイ。女子は白シャツ、グレー系のスカートまたはズボンとし、選手と同じように監督席で礼をし、先鋒・大将の試合時には正座をすること。
- (12) 試合場には監督・登録済みのコーチ・選手以外は入られない。
- (13) 監督席には監督のみ入ることとする。（個人戦が重なった場合はコーチも認めることとする。）

6 全国・東北大会について

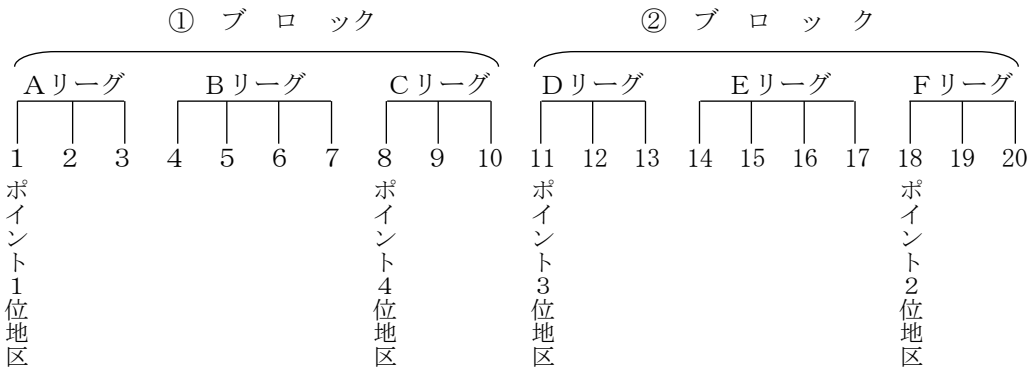
- (1) 全国大会について
 - ① 団体戦……男女とも1位校を推薦する。
 - ② 個人戦……男女とも1位と2位を推薦する。
- (2) 東北大会について
 - ① 団体戦……男女とも1位～4位を推薦する。3位・4位の順位はそれぞれ、1位2位に負けたチームとする。
 - ② 個人戦……個人戦上位8名を推薦する。
- (3) 荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかったすべての場合において、団体戦・個人戦ともに、ポイント上位を優先し、剣道専門部で協議して決定することとする。

7 組み合わせ（団体戦）

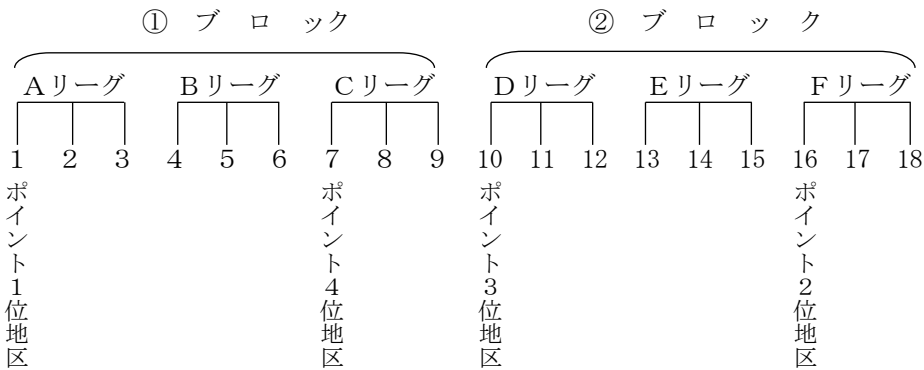
□決勝トーナメント



□予選リーグ（男子）



□予選リーグ（女子）



8 抽選方法 ア 団体戦

- (1) 男子は組み合わせ表 1・8・11・18をシードし、それぞれ第1・第4・第3・第2シードとする。女子は1・7・10・16をシードし、それぞれ第1・第4・第3・第2シードとする。
- (2) 県新人大会及び県春季大会の成績のポイントにより上位4地区の1位校をシードとする。
- (3) 男子は5・7・10・13・15・17に他の1位校を抽選する。女子は4・6・9・12・13・15に他の1位校を抽選する。
- (4) ①男子はブロックに1位が入っている地区の2位校を12・14・16・19・20に抽選する。
女子は 11・14・17・18に抽選する。
- ②男子はブロックに1位が入っている地区の2位校を2・3・4・6・9に抽選する。
女子は 2・3・5・8に抽選する。

イ 個人戦

- (1) 県新人大会及び、県春季大会の成績ポイントにより上位4地区をシードとし、その後フリー抽選とする。

※5月13日の地区委員長会議で抽選し、6月24日の抽選会で確認する。

9 その他 竹刀の検量について

	8 : 10～9 : 00	9 : 00～10 : 30	10 : 30～
7月14日(日)	女子のみ検量(検量場所)	男女検量(検量場所)	男女検量(本部で)
7月15日(月)	女子のみ検量(検量場所)	男女検量(検量場所)	男女検量(本部で)

青森県中体連剣道競技申し合わせ事項

本申し合わせ事項は、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項ならびに東北中体連剣道申し合わせ事項に基づき作成している

令和元年5月13日現在

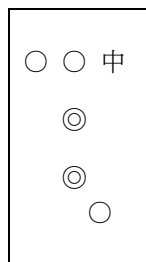
【試合・審判規則に関わること】

- 1 開始線の位置は中心より1.4mとする。
- 2 足袋・サポーター（剣道専用）、テーピング（スポンジ入り禁止）の使用は医療上必要な場合認める。あらかじめ、試合場の審判主任に申し出て許可を得る。（足の指に巻く程度はテーピングとしない。）
- 3 不正竹刀を使用した場合はその使用者は相手に2本を与えて負けとし、その後の試合には出場できない。ただし、リーグ戦・決勝トーナメントともその試合のみとし、前の試合にさかのぼらない。その後の試合においては不正竹刀使用者にかわって補員の出場を認める。また、団体戦・個人戦は別扱いとする。
この場合不正竹刀とは
 - ①「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」
 - ②「異物を挿入した竹刀」（異物とは先革のゴム、柄頭のチギリ以外のもの全てをいう）
 - ③合印のついていない竹刀をいう。（片方がとれた場合はただちに本部にて検量し直す）※試合中に片方が取れた竹刀が発見された場合は中断し、本部にて検量し直す。
- 4 身体に特別な事情のある者（本部・競技委員長まで届け出る）以外の上段技、片手技は認めない。また突き技は反則とし、二刀は禁止する。
- 5 倒れた瞬間の一本は有効とする。（危険なときは直ちにやめをかけ間をおかない）
- 6 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」のうえ「反則」とする。（公正を害する行為）
- 7 竹刀の弦が回った状態の時は一度指導し、次からは有効打突と認めない。

【試合運営に関わること】

- 1 試合場には、監督、コーチ（学校長が認めた）、選手、補員、以外は入らないこと。
- 2 監督はその学校の教職員または部活動指導員とし、監督の変更は原則として認めない。
- 3 選手（補員を含む）は前垂に学校名、氏名を明記した名札をつける。名札をつけない者は出場を認めない。名札は下の図を参照のこと。
- 4 オーダーの変更は認めない。違反した場合はそのチームの違反選手を負けとする。選手の交代については、当日競技委員長に申し出る。一度交代した者（棄権した者）は、再出場を認めない。
- 5 試合開始とは「始め」の宣告後立って構えてからとする。試合終了は、ホイッスルを優先する。
- 6 つばは固定すること。つばは、革色（白、茶系統）のものを使用すること。また、柄は、滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので白色とする。
- 7 剣道着、袴は紺または白を原則とする。（袴の刺繍は原則として禁止とする）
- 8 面ひもは、結び目から40cm以内とし、長い場合は切ること。また、面乳革は黒か濃紺で華美でないものとする。
- 9 監督・コーチの服装は、男子が白シャツ、白またはグレー系のズボン、ネクタイ、女子は白シャツ、白またはグレー系のスカートまたはズボンとし、選手と同じように監督席で礼をし、先鋒、大将の試合時には正座すること。
- 10 試合中の応援は拍手のみとする。
- 11 会場内（競技場・観覧席）へ応援旗・激励旗は持ち込まないこと。

- 12 監督・コーチは選手激励のため、非紳士の言動にはしらぬように厳重に注意すること。選手控え席へのストップウォッチの持ち込み、サイン等による指示や試合者への声援などをしてはならない。試合終了者への指導については、試合が終了後、試合場外（アリーナの外、廊下など）で指導する。（応援の父母等も含む）
- 13 竹刀検量に持ってくる竹刀は
 (1)竹刀の柄部位に学校名と名前を記していること。
 (2)前大会までに使用した合印は、きれいにはがしておくこと。
- 14 オーダーミスについては以下のようにする。
 (1) 試合開始前に発覚した場合は正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。
 (2) 試合中あるいは試合後に発覚した場合は次のように措置する。
 (例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス)
 *先鋒、次鋒とも相手に2本を与えて負けとする。
 *先鋒、次鋒とも既得本数は認めない。
- (3) オーダーミスのあったチームが勝ちあがった場合は次のように措置する。
 (例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス)
 *ミスがあった2選手の以後の出場は認めない。
 *補員の出場は認める。
- ※ 名札は、黒か紺に白で学校名と姓を記入すること。



学校名「〇〇中」と入る。

姓

同姓の者がいるときは頭文字
 (二人いる場合どちらかに必ず入っていること)

12 相 撲 競 技

- 1 日 時 7月14日(日) 9:30～ 審判会議・監督会議
10:00～ 開始式
10:05～ 競技開始
団体リーグ戦・学年別個人戦（予選・決勝トーナメントまたはリーグ戦）
- 2 場 所 青森県武道館（弘前市）
- 3 参加チーム・編成
(1)団体戦
①各地区大会に登録した、各学校1チームとする。
②チーム編成は学校単位で、選手3名、交代選手2名、監督（当該校の教職員又は部活動指導員）1名で編成する。
(2)個人戦
①学年毎として各地区大会に登録した選手とする。
②体重別個人戦は実施しない。
- 4 競技規定 (公財)日本相撲連盟の競技会規程および審判規程ならびに審判規程補足を原則として用いて行う。
- 5 競技方法 (1)団体戦はリーグ戦とし、勝率得点で順位を決定する。但し、同点の場合は再度対戦して決定する。
(2)団体戦のメンバー変更は原則として1名とする。但し、競技中に選手が怪我等をした場合については、各地区競技委員長が話し合い、2名の変更を認めることもある。
(3)団体戦に棄権があった場合、監督会議前であれば対戦をしない。競技中に怪我等で団体戦メンバーが1名以下になった場合、棄権とする。その後の対戦校は勝ちとし、団体出場選手に準ずる得点をあたえる。
(4)学年別個人戦は予選4ブロックのリーグ方式によって各リーグから上位2名を決める。その合計8名で決勝トーナメント戦を行う。決勝トーナメントの抽選は、各リーグ1位の選手を分散するよう競技会場にて本人抽選を行う。その後に2位の選手が抽選を行う。ただし、同校の対戦は避けるようにする。トーナメント戦終了後、東北大会の出場順位決定戦を以下の通り行う。
・準決勝戦の敗者同士で3位・4位を決める。
・準々決勝戦の第1試合と第2試合の敗者同士で勝敗を決める。
・準々決勝戦の第3試合と第4試合の敗者同士で勝敗を決める。
・準々決勝戦の敗者同士の対戦の勝者同士で5位・6位を決める。
・準々決勝戦の敗者同士の対戦の敗者同士で7位・8位を決める。
(5)個人戦申込みは、各地区順位を記入する。申込者が12人未満の場合、総あたりのリーグ戦を行う。
(6)選手は立礼をし、勝ち名乗りはそんきょをして受ける。
(7)立ち合いは「待たなし」、必ず両方の手をついて、主審のかけ声で立つこと。
- 6 抽選について (1)団体戦については各地区1位の中からA（東に固定）を抽選する。
(2)学年別個人戦のブロック分けは6（1）の抽選を基に、1位の選手からA、B、C、D、D、C、B、A、Aブロックの順に入れる。同校の選手が同じブロックに入る場合は、次の選手と入れ替える。
- 7 全国大会・東北大会出場について
(1)団体戦、1位校に全国大会への出場権を与える。
(2)団体戦、上位4校まで東北大会への出場権を与える。
(3)個人戦、各学年6位まで東北大会への出場権を与える。
(4)荒天・災害により大会が実施不可能な場合の出場について、下記のとおりとする。
・昨年度の青森県新人相撲大会の結果を基本とするが、専門部会長、各地区委員長が協議し決定する。
【全国大会】
①団体戦
ア 昨年度の青森県新人相撲大会の優勝校に全国大会への出場権を与える。

【東北大会】

①団体戦

ア 昨年度の青森県新人相撲大会の上位4校まで東北大会への出場権を与える。

②個人戦

ア 2年生、3年生においては、昨年度の青森県新人相撲大会の学年別個人戦6位まで東北大会の出場権を与える。

イ 1年生においては、青森県中学校体育大会夏季大会以前（中学校に入学してから）の大会を参考にし、相撲専門部長と各地区の委員長が協議し決定する。

③辞退が出た場合

ア 団体戦、個人戦ともに繰り上げて東北大会への出場権を与える。

8 その他

(1)荒天の場合も、相撲場に集合して監督会議を開き、競技開始を決定する。

(2)審判（副審）は各地区の委員長及び監督が交代で行うこともある。

13 体操競技・新体操男子

1 日 時

【体操競技】	7月15日(月)	8:00～	開場
		8:10～	会場準備
		10:10～	審判・監督会議
		10:40～	開始式
		11:00～	フリー練習
		11:40～	公式練習開始
		12:43	公式練習終了
		12:50～	演技開始
		14:20	演技終了
		14:30～	片付け、東北大会出場者選考会
		15:00～	閉会式

【新体操男子】	7月14日(日)	8:00～	開場
		9:00～	開始式(青森山田中学校体育館)
		9:40～	審判・監督会議
		10:00～	個人公式練習
		10:20～	個人演技
		10:40～	団体フリー練習
		11:10～	団体公式練習(3チーム×8分)
		11:40～	団体演技
		12:00～	片づけ、東北大会出場者選考会
		12:20～	閉会式

2 場 所

体操競技 弘前市民体育館
新体操男子 青森山田高等学校第二体育館

3 参加資格

- (1)体操競技のチームは学校単位とし、1チームまで出場できる。(チーム4名補欠2名)
- (2)新体操のチームは学校単位とし、1チームまで出場できる。
- (3)体操競技の個人は、チーム構成員のほか、出場できる。ただし、地区大会に出場した者。(補欠なし)
- (4)新体操個人は、各地区代表3名とする。(補欠なし)

4 採点規則 ・競技規則

- (1)体操競技
〈男子〉・(公財)日本体操協会制定2017年版男子採点規則・2018年度版中学校男子適用規則。
〈女子〉・(公財)日本体操協会2017年版女子採点規則・変更規則I
〈男女〉・(公財)日本体操協会制定競技規則最新版(日本中体連体操競技遵守事項並びに東北中体連体操専門部遵守事項を適用)
- (2)新体操
〈男子〉・(公財)日本体操協会制定新体操男子規則2015年度版採点規則一部改定を採用する。(ジュニア適用規則)

5 競技方法

- (1)体操競技
 - ①種目 男子：ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒
女子：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか
 - ②方法
 - ア 団体総合成績はあん馬(男子)・段違い平行棒(女子)を除いた3種目のベスト3総合得点により決定する。
 - イ 個人総合成績は、男子は4種目の演技、女子は演技の総合得点により決定する。

ウ 種目別成績は、男子は各種の演技の合計点、女子は演技の得点により決定する。

(2)新体操

①種目

ア 団体：自由演技のみとする。

イ 個人：自由演技のみとし、手具は「クラブ」及び「スティック」とする。

②方法

<団体競技>

ア 男子は同一校6名（補欠2名以内）でチームを構成する。

イ 演技時間は、2分45秒～3分とする。

ウ 構成と実施の合計点で順位を決定する。

<個人競技>

ア 演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。

イ 個人総合は、2種目の合計点により順位を決定する。

ウ 種目別は、各種目の演技の合計点により決定する。

6 東北大会出場権

(1)体操競技団体は男女とも上位2校。

(2)体操競技個人は男女とも(1)の団体を除いた個人総合上位4名。

(3)新体操男子団体は上位2校。

(4)新体操男子個人は、個人総合上位3名。

(5)辞退した場合は、順次繰り上げて推薦するが、選手選考会後はいかなる場合も変更しない。

(6)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合の東北・全国大会出場チーム（選手）の選出方法は、各地区の結果をもとに抽選によって決定する。参加チームや選手数によって、抽選枠は考慮して行う。

7 コーチ及びテクニカル・アドバイザーについて

(1)外部コーチ：校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。

(2)テクニカル・アドバイザー：中学校の教職員で当該校以外の他の中学校の補助、指導を行う指導者。

8 その他

<体操競技・新体操共通事項>

(1)監督は、監督会議に必ず出席しなければならない。

(2)伴奏音楽は、音楽を記録した記録媒体を参加選手が持参し、使用すること。

(3)器具については会場にあるものを使用する。

(4)撮影する場合は、撮影許可が必要になる。

<体操競技>

(1)ゼッケンは、西洋紙1/4大の白布に番号を男子は黒、女子は赤で記入すること。

(2)当該校監督と外部コーチ(1名)またはテクニカル・アドバイザー(1名)以外は競技場に立ち入ることはできない。

(3)選手は、それぞれの学校を示すマークをつけて出場しなければならない。女子については、3cm×3cm以上。

<新体操>

(1)演技中は、当該校監督以外は競技場に立ち入ることはできない。外部コーチのアリーナへの出入りは、公式練習までとする。

(2)選手は、それぞれの学校を示すマークをつけて出場しなければならない。選手は、マークの中身については学校名または校章とする。3cm×3cm以上(校名は略称でも可能)。

(3)マークのつけ位置については、腰骨より上(上腕を含む)の身体の前面で、レオタード柄と区別がつくようにする。

14 新体操女子

- 1 日 時 7月13日(土) 13:00～ 会場準備
7月14日(日) 8:00～ 開場
9:00～ 開始式
9:30～ 審判・監督会議
10:00～ 個人公式練習
10:35～ 個人競技開始
12:20～ 団体公式練習
13:25～ 団体競技開始
14:10～ 選考会
14:20～ 閉会式
- 2 場 所 青森山田中学校体育館
- 3 参加資格 (1)新体操のチームは学校単位とし、1チームまで出場できる。
(2)新体操個人は、各地区代表3名とする。(補欠なし)
- 4 採点規則 (公財)日本体操協会制定新体操女子採点規則2017-2020年版ジュニアルールを採用する。
一部中体連ルールを適用する。
- 5 競技方法 新体操
- ①種目
ア 団体：自由演技のみとし、女子の手具は「リボン5」とする。
イ 個人：自由演技のみとし、手具は「ボール」及び「クラブ」とする。
- ②方法
〈団体競技〉
ア 同一校5名(補欠3名以内)でチームを構成する。
イ 演技時間は、2分15秒～2分30秒とする。
ウ 難度(D)と実施(E)の得点により順位を決定する。
〈個人競技〉
ア 演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。
イ 個人総合は、2種目の合計点により順位を決定する。
ウ 種目別は、各種目の演技の合計点により決定する。
- 6 東北大会出場権
(1)団体は上位2校。
(2)新体操個人は、個人総合上位3名。
(3)辞退した場合は、順次繰り上げて推薦するが、選手選考会後はいかなる場合も変更しない。
(4)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合の東北・全国大会出場チーム(選手)の選出方法は、各地区の結果をもとに抽選によって決定する。参加チームや選手数によって、抽選枠は考慮して行う
- 7 コーチについて
(1)外部コーチ：校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
- 8 その他
(1)監督は、監督会議に必ず出席しなければならない。
(2)伴奏音楽は、音楽を記録した記録媒体を参加選手が持参し、使用すること。
(3)器具については会場にあるものを使用する。
(4)撮影する場合は、撮影許可が必要になる。
(5)演技中は、当該校監督以外は競技場に立ち入ることはできない。外部コーチのアリーナへの出入りは、公式練習までとする。
(6)選手は、それぞれの学校を示すマークをつけて出場しなければならない。選手は、マークの中身については学校名または校章とする。3cm×3cm以上(校名は略称でも可能)。

(7)マークのつけ位置については、腰骨より上（上腕を含む）の身体の前面で、レオタード柄と区別がつくようにする。

15 水 泳 競 技

- 1 日 時 7月13日(土) 公式練習 9:00~12:00
 7月14日(日) 開 門 8:00 監督会議 9:00
 開 始 式 9:30 競技開始 10:00
 7月15日(月) 開 門 8:00 競技開始 9:30
 閉 会 式 15:00
 7月16日(火) 予 備 日

- 2 場 所 青森県総合運動公園プール 50m×8レーン
 〒038-0021 青森市大字安田近野234-7 017-766-1241

3 種 目	男 子	女 子
自 由 形	50・100・200・400・1500	50・100・200・400・800
背 泳 ぎ	100・200	100・200
平 泳 ぎ	100・200	100・200
バ タ フ ラ イ	100・200	100・200
個 人 メ ド レ ー	200・400	200・400
フ リ ー リ レ ー	4×100	4×100
メ ド レ ー リ レ ー	4×100	4×100

- 4 参 加 資 格 (1)青森県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、校長が参加を認めた者。
 (2)各地区大会で2位までに入賞するか、各地区大会の予選・決勝を問わず、2019年度県大会の標準記録を突破した個人及びリレーチーム。(同記録も可)
 ※男女400m自由形、男女400m個人メドレー、男子1500m自由形、女子800m自由形については、各地区大会で2位以内であっても、制限タイムを突破していなければ出場することはできない。
- 5 参 加 制 限 (1)1校1種目3名以内、1人2種目以内(リレー種目を除く)とする。
 (2)フリーリレー・メドレーリレーは1校1チーム6名までエントリーできる。
- 6 競 技 規 定 2019年 (公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。
- 7 競 技 方 法 (1)各種目の予選はタイムレースとし上位8名で決勝を行う。
 (2)男子1500m自由形と女子800m自由形はタイム決勝とする。
 (3)男女別学校対抗とする。
 ①個人種目毎に1位8点、2位7点~8位1点(ただし、リレー種目は1位16点、2位14点~8位2点)とし最多得点校を優勝とする。
 ②総合得点が同点の場合はリレー得点・入賞者の数(リレー種目は4として計算)、1位の数から8位の数で決定する。
- 8 申 込 方 法 (1)申込み用紙は中体連ホームページからダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、校長印を押して地区の中体連に3部提出する。
 (2)Web-SWMSYSによる競技者エントリーの締切は6月20日(木)とする。
- 9 表 彰 (1)男女別個人種目・リレー種目は上位8位まで賞状を授与する。(リレー種目は3位まで入賞したチームにリレーメンバー分授与する。)

(2)学校対抗(総合)は男女別8位まで賞状を授与する。男女優勝校には優勝旗を授与する。

10 東北大会・全国大会

(1)東北大会：4位までに入賞した選手、リレーチーム及び標準記録突破の選手は東北大会の出場権を得る。

(2)全国大会：県大会において全国中学校水泳競技大会の標準記録を突破したものは全国大会の出場資格を得る。

※予選、決勝どちらで標準記録を突破しても出場の対象となる。

(3)荒天・災害により、会期中に競技を消化できなかった場合の東北大会・全国大会の対応について

①東北大会：地区大会の記録を参考とし、上位4名に出場権を与える。地区大会を短水路で実施している地区は50mにつき0.5秒加算する

②全国大会：全国中学校水泳競技大会の実行委員会と協議し、選考する。

11 その他

(1)競技役員は各地区委員長及び出場校からも出してもらう。

(2)中体連申し合わせ事項によりスイミングスクール名やマークの入った水着・キャップ等は使用できない。

(3)ビデオカメラ、カメラ等で撮影のため撮影許可証を発行する。

競 技 順 序

〈第1日目：7月14日(日)〉 競技開始 10:00

1.	女子	4×100m	フリーリレー	予選		16.	男子	400m	個人メドレー	決勝
2.	男子	4×100m	フリーリレー	予選		17.	女子	800m	自由形	決勝
3.	女子	50m	自由形	予選		18.	男子	1500m	自由形	決勝
4.	男子	50m	自由形	予選		19.	女子	50m	自由形	決勝
5.	女子	400m	個人メドレー	予選		20.	男子	50m	自由形	決勝
6.	男子	400m	個人メドレー	予選		21.	女子	200m	自由形	決勝
7.	女子	200m	自由形	予選		22.	男子	200m	自由形	決勝
8.	男子	200m	自由形	予選		23.	女子	200m	バタフライ	決勝
9.	女子	200m	バタフライ	予選		24.	男子	200m	バタフライ	決勝
10.	男子	200m	バタフライ	予選		25.	女子	200m	背泳ぎ	決勝
11.	女子	200m	背泳ぎ	予選		26.	男子	200m	背泳ぎ	決勝
12.	男子	200m	背泳ぎ	予選		27.	女子	200m	平泳ぎ	決勝
13.	女子	200m	平泳ぎ	予選		28.	男子	200m	平泳ぎ	決勝
14.	男子	200m	平泳ぎ	予選		29.	女子	4×100m	フリーリレー	決勝
15.	女子	400m	個人メドレー	決勝		30.	男子	4×100m	フリーリレー	決勝

〈第2日目：7月15日(月)〉 競技開始 9:30

31.	女子	4×100m	メドレーリレー	予選		45.	女子	100m	バタフライ	決勝
32.	男子	4×100m	メドレーリレー	予選		46.	男子	100m	バタフライ	決勝
33.	女子	100m	バタフライ	予選		47.	女子	100m	自由形	決勝
34.	男子	100m	バタフライ	予選		48.	男子	100m	自由形	決勝
35.	女子	100m	自由形	予選		49.	女子	100m	背泳ぎ	決勝
36.	男子	100m	自由形	予選		50.	男子	100m	背泳ぎ	決勝
37.	女子	100m	背泳ぎ	予選		51.	女子	100m	平泳ぎ	決勝
38.	男子	100m	背泳ぎ	予選		52.	男子	100m	平泳ぎ	決勝
39.	女子	100m	平泳ぎ	予選		53.	女子	200m	個人メドレー	決勝
40.	男子	100m	平泳ぎ	予選		54.	男子	200m	個人メドレー	決勝
41.	女子	200m	個人メドレー	予選		55.	女子	400m	自由形	決勝
42.	男子	200m	個人メドレー	予選		56.	男子	400m	自由形	決勝
43.	女子	400m	自由形	予選		57.	女子	4×100m	メドレーリレー	決勝
44.	男子	400m	自由形	予選		58.	男子	4×100m	メドレーリレー	決勝

※種目のエントリー数により、競技順序が繰り上がる場合もある。

2019年度標準記録一覧

青森県中体連水泳専門部

種目・距離	男					女						
	県大会:短	短:制限タイム	県大会:長	長:制限タイム	東北大会	全国大会	県大会:短	短:制限タイム	県大会:長	長:制限タイム	東北大会	全国大会
自由形	50	28.87	/	29.56	/	26.63	25.09	31.04	/	31.78	/	27.28
	100	1:02.78	/	1:04.27	/	58.49	54.61	1:07.48	/	1:09.08	/	59.49
	200	2:18.30	/	2:21.58	/	2:07.82	1:58.35	2:27.37	/	2:30.87	/	2:08.01
	400	4:54.65	5:32.66	5:01.65	5:37.63	4:33.33	4:11.38	5:09.87	5:47.56	5:17.23	4:48.68	4:28.77
	1500/800	19:37.31	20:21.18	20:05.25	20:50.97	18:15.80	16:41.86	10:42.65	11:35.02	10:57.90	9:58.69	9:17.10
背泳	100	1:12.48	/	1:14.20	/	1:07.02	1:01.31	1:16.33	/	1:18.14	/	1:05.80
	200	2:37.56	/	2:41.30	/	2:26.15	2:12.36	2:44.20	/	2:48.10	/	2:21.14
平泳	100	1:17.49	/	1:19.33	/	1:12.19	1:06.77	1:25.05	/	1:27.07	/	1:13.45
	200	2:48.41	/	2:52.41	/	2:35.89	2:23.42	3:02.41	/	3:06.74	/	2:36.66
バタフライ	100	1:08.42	/	1:10.04	/	1:03.24	58.17	1:13.90	/	1:15.66	/	1:03.81
	200	2:35.31	/	2:39.00	/	2:23.69	2:09.37	2:46.40	/	2:50.35	/	2:19.85
個人メドレー	200	2:36.47	/	2:40.19	/	2:24.66	2:12.72	2:46.80	/	2:50.76	/	2:23.31
	400	5:36.08	6:07.41	5:44.05	6:17.34	5:10.42	4:41.47	5:55.61	6:27.27	6:04.05	5:30.17	5:02.79
4×100フリーリレー		4:22.90	/	4:29.14	/	4:04.04	3:50.86	4:45.36	/	4:52.13	/	4:10.79
4×100メドレーリレー		4:55.54	/	5:02.56	/	4:31.80	4:16.43	5:20.32	/	5:27.92	/	4:37.92

1. 県大会への出場資格

・各地区大会で2位までに入賞するか、上記の標準記録を突破した者。(1/100秒の記録までを対象とする。)

・同タイムも出場できる。

※男女400m自由形、男女400m個人メドレー、男子1500m自由形、女子800m自由形については各地区大会で2位以内であっても、上記の制限タイムを突破していないければ出場することはできない。

2. 東北大会への出場資格

・県大会で4位までに入賞するか、県大会の予選もしくは決勝で上記の東北大会の標準記録を突破した者。(1/100秒までを対象とする。)

・同タイムも出場できる。

※各地区大会で標準記録を突破しても、出場資格は得られない。県大会が予選となる。

3. 全国大会への出場資格

・県大会の予選もしくは決勝で上記の全国大会の標準記録を突破した者。(1/100秒までを対象とする。)

・同タイムも出場できる。

※各地区大会で標準記録を突破しても、出場資格は得られない。県大会が予選となる。

☆フリーリレー・メドレーリレーにおける第一泳者の正式時間は、その対象としない。

☆予選、決勝どちらでも標準記録を突破しても出場の対象となる。